

A14

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001226218 A**

(43) Date of publication of application: **21.08.01**

(51) Int. Cl.

A61K 7/00
A61K 7/06
A61K 7/075
A61K 7/08
A61K 7/11
A61K 7/48
A61K 7/50

(21) Application number: **2000038919**

(22) Date of filing: **17.02.00**

(71) Applicant: **ICHIMARU PHARCOS CO LTD**

(72) Inventor: **OHARA MITSU HARU**
HORI MICHIMASA

**(54) COSMETIC COMPOSITION CONTAINING PLANT
 STEAM DISTILLATION WATER**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a new and cosmetic composition.

SOLUTION: This cosmetic composition characterized by containing the steam distillation water of one or more kinds of plants selected from Malpighiaceae plants (*Galphimia glauca* Cav., *Malpighia glabra* L., *Tristellateia australasica* A. Rich.), Lauraceae plants [*Actinodaphne acuminata* (Bl.) Meissn., *Actinodaphne lancifolia* (Sieb. et Zucc.) Meissn., *Cassytha filiformis* L., *Cinnamomum camphora* (L.) Presl, *Cinnamomum sieboldii* Meissn., *Cryptocarya chinensis* (Hance) Hemsl., *Laurus nobilis* L., *Lindera umbellata* Thunb., *Lindera strychnifolia* (Sieb. et Zucc) F. Vill., *Litsea japonica*

(Thunb.) Juss., *Neolitsea sericea* (Bl.) Koids., *parabenzoin trilobum* (Sieb. et Zucc.) Nakai, *Persea americana* Miller], *Elaeagnaceae* plants [*Elaeagnus multiflora* Thunb., *Elaeagnus angustifolia* L., *Elaeagnus glabra* Thunb., *Elaeagnus umbellata* Thunb.), *Rhamnaceae* plants [*Berchemia racemosa* Sieb. et Zucc., *Hovenia dulcis* Thunb., *Paliurus ramosissimus* (Lour.) Poir., *Phamnus japonica* Maxim., *Zizyphus jujuba* Miller var. *inermis* Rehder = (*Ziziphus jujuba* Miller)], *Moraceae* plants [*Artocarpus heterophyllum* Lam., *Broussonetia kazinoki* Sieb., *Cudrania tricuspidata* (Carr.) Lav., *Ficus carica* L., *Morus alba* L.], and *Punicaceae* plants (*Punica granatum* L., *Punica granatum* L. var. *nana* Pers.). The cosmetic composition can improve dry skins and can give gloss and tensions to skins.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-226218
(P2001-226218A)

(43) 公開日 平成13年8月21日 (2001.8.21)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
A 6 1 K 7/00		A 6 1 K 7/00	K 4 C 0 8 3
7/06		7/06	
7/075		7/075	
7/08		7/08	
7/11		7/11	
審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 31 頁) 最終頁に続く			
(21) 出願番号	特願2000-38919 (P2000-38919)	(71) 出願人	000119472 一丸ファルコス株式会社 岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1
(22) 出願日	平成12年2月17日 (2000.2.17)	(72) 発明者	大原 光晴 岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1 一丸ファルコス株式会社内
		(72) 発明者	堀 道政 岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1 一丸ファルコス株式会社内
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 植物水蒸気蒸留水含有化粧料組成物

(57) 【要約】

【課題】 新規で安全な化粧料組成物を提供することを課題とする。

【解決手段】 キントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有した化粧料組成物を提供するものである。

【効果】 乾燥肌を改善し、肌にツヤ・張りも与えることができる。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 キントラノオ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 2】 キントラノオ科植物が、キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 3】 クスノキ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 4】 クスノキ科植物が、バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカドから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 5】 グミ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 6】 グミ科植物が、ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 7】 クロウメモドキ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 8】 クロウメモドキ科植物が、ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 9】 クワ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 10】 クワ科植物が、パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 11】 ザクロ科植物から選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【請求項 12】 ザクロ科植物が、ザクロ、ヒメザクロから選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有することを特徴とする化粧料組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、キントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモ

ジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）より選ばれる 1 種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有する化粧料組成物への応用に関するものである。

【0002】 その利用分野は、例えば、各種の外用製剤類（動物用に使用する製剤も含む）全般において利用でき、化粧品類の処方（製剤化）の際に、精製水、蒸留水の添加を必要とする場合、その水分の代替として利用でき、具体的には、アンプル、カプセル、丸剤、錠剤、粉末、顆粒、固形、液体、ゲル又は気泡の 1) 医薬品類、2) 医薬部外品類、3) 局所用又は全身用の皮膚用化粧品類（例えば、化粧水、乳液、クリーム、軟膏、ローション、オイル、パックなどの基礎化粧料、洗顔料や皮膚洗浄料、マッサージ用剤、クレンジング用剤、除毛剤、脱毛剤、髭剃り処理料、アフターシェーブローション、プレシェーブローション、シェービングクリーム、ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドウ、アイライナー、マスカラなどのメイクアップ化粧料、香水類、パップ剤、プラスター剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤など）、4) 頭皮・頭髮に適用する薬用又は/及び化粧用の製剤類（例えば、シャンプー剤、リンス剤、トリートメント剤、パーマネント液、染毛料、整髪料、ヘアートニック剤、育毛・養毛料、パップ剤、プラスター剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤など）、5) 浴湯に投じて使用する浴用剤、6) その他、腋臭防止剤や消臭剤、防臭剤、衛生用品、衛生綿、ウェットティッシュ、口中清涼剤（例えば、歯磨き、マウスウォッシュなど）などが挙げられる。

【0003】

【従来の技術】 天然の香料を得る場合、例えば、植物中から匂いの良好な香料成分（芳香性精油）を得る際には、その多くは、水蒸気蒸留により精油層部を分取して得られる。又、その際、同時に水層部に移行した水溶性成分は、これまで、ほとんど有効利用されていなかった。すなわち、植物の水蒸気蒸留によって水層部に移行した水蒸気蒸留水は、他の水、例えば、蒸留水、精製水、水道水、地下水などとは区別でき、ほとんど有効利用がないのが現状である。

【0004】 又、植物から水蒸気蒸留法によって精油層部に移行した揮発性の精油成分は、例えば、各種の化粧品類を始め、加工食品類、冷菓・菓子類などの芳香剤（香料）として用いられ、更に、医薬品の有効成分として、或いはシロップ剤などの芳香成分として利用されており、このような天然香料（水蒸気蒸留において得られた精油成分/香油）については、微量であれば、その香りの発散によって、精神的な安定感を付与し、ストレスの解消、清涼感を与え、健康回復に役立つとされている

が、しかしながら、添加量が多いと、逆効果を生じ、体調を崩すこともあり、更に、添加濃度が高い天然香料を皮膚に貼付すると、皮膚一次刺激を起こすこともある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明は公知な水蒸気蒸留装置を用いて、植物の各種部位（花、葉、茎、根茎、根皮、根、幹、樹皮、果実、種子或いは全草）をもとに、多量の水蒸気蒸留水の有効利用を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】こうした事情に鑑み、本発明者らは、水蒸気蒸留の際に、副産物として得られる植物の水蒸気蒸留水を開発のテーマとし、その結果、キントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）から選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有した化粧料組成物を提供することをもって、本発明を完成するに至った。

【0007】

【発明の実施の形態】尚、本発明で使用する植物とは以下に示すが、花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を使用することができるが、生薬として入手可能なものを用いても良い。

【0008】

【発明の実施の形態】尚、本発明で使用する「キントラノオ」とは、キントラノオ科（Malpighiaceae）、キントラノオ属（Galphimia）の植物：キントラノオ（*Galphimia glauca* Cav.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0009】「アセロラ（別名：バルバドスザクラ）」とは、キントラノオ科（Malpighiaceae）、マルピグヒア属（*Malpighia*）の植物：アセロラ（*Malpighia glabra* L.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0010】「コウシュンカズラ」とは、キントラノオ科（Malpighiaceae）、コウシュンカズラ属（*Tristellata*）の植物：コウシュンカズラ（*Tristellateia australasica* A.Rich.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0011】「バリバリノキ」とは、クスノキ科（Laur

aceae）、カゴノキ属（*Actinodaphne*）の植物：バリバリノキ（*Actinodaphne acuminata* (Bl.) Meissn.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0012】「カゴノキ」とは、クスノキ科（*Lauraceae*）、カゴノキ属（*Actinodaphne*）の植物：カゴノキ（*Actinodaphne lancifolia* (Sieb. et Zucc.) Meissn.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

10 【0013】「スナヅル」とは、クスノキ科（*Lauraceae*）、スナヅル属（*Cassytha*）の植物：スナヅル（*Cassytha filiformis* L.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0014】「クスノキ（別名：楠）」とは、クスノキ科（*Lauraceae*）、クスノキ属（*Cinnamomum*）の植物：クスノギ（*Cinnamomum camphora* (L.) Presl）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種の

20 ホウショウ（*Cinnamomum camphora* (L.) Presl var. *nominale* Hayata subvar. *hosyo* Hatusima）を用いることもできる。

【0015】「ニッケイ（別名：肉桂）」とは、クスノキ科（*Lauraceae*）、クスノキ属（*Cinnamomum*）の植物：ニッケイ（*Cinnamomum sieboldii* Meissn.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のケイ（*Cinnamomum cassia* Blume）、セイロンニッケイ（*Cinnamomum verum* J. S. Presl）、タイワンニッケイ（*Cinnamomum pseudo-loureirii* Hay.）を用いることもできる。

【0016】「シナクスモドキ」とは、クスノキ科（*Lauraceae*）、シナクスモドキ属（*Cryptocarya*）の植物：シナクスモドキ（*Cryptocarya chinensis* (Hance) Hemsl.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0017】「ゲッケイジュ（別名：月桂樹）」とは、クスノキ科（*Lauraceae*）、ゲッケイジュ属（*Laurus*）の植物：ゲッケイジュ（*Laurus nobilis* L.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0018】「クロモジ（別名：黒文字）」とは、クスノキ科（*Lauraceae*）、クロモジ属（*Lindera*）の植物：クロモジ（*Lindera umbellata* Thunb.）の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアメリカクロモジ（*Lindera benzoin* (L.) Bl.）、カナクギノキ（*Lindera erythrocarpa* Makino）、ヤマコウバシ（*Lindera glauca* Bl.）、ダンコウバイ（*Lindera obtusiloba* Bl.）を用いることもできる。

50

【0019】「テンダイウヤク（別名：天台烏薬）」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、クロモジ属 (Lindera) の植物：テンダイウヤク (*Lindera strychnifolia* (Sieb. et Zucc.) F. Vill. = (*Benzoin strychnifolium* (Sieb. et Zucc.) O. Kuntze)) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0020】「ハマビワ（別名：浜枇杷）」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、ハマビワ属 (*Litsea*) の植物：ハマビワ (*Litsea japonica* (Thunb.) Juss.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアオモジ (*Litsea cubeba* (Lour.) Pers.) を用いることもできる。

【0021】「シロダモ」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、シロダモ属 (*Neolitsea*) の植物：シロダモ (*Neolitsea sericea* (Bl.) Koidz.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のイヌガシ (*Neolitsea aciculata* (Bl.) Koidz.) を用いることもできる。

【0022】「シロモジ」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、シロモジ属 (*Parabenzoin*) の植物：シロモジ (*Parabenzoin trilobum* (Sieb. et Zucc.) Nakai) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアブラチャン (*Parabenzoin praecox* (Sieb. et Zucc.) Nakai) を用いることもできる。

【0023】「アボカド（別名：ワニナシ）」とは、クスノキ科 (Lauraceae)、アボカド属 (*Persea*) の植物：アボカド (*Persea americana* Miller) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0024】「ナツグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：ナツグミ (*Elaeagnus multiflora* Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のダイオウグミ (*Elaeagnus multiflora* Thunb. var. *gigantea* Araki)、トウグミ (*Elaeagnus multiflora* Thunb. var. *hortensis* Serv.)、ナワシログミ (*Elaeagnus pungens* Thunb.)、アキグミ (*Elaeagnus umbellata* Thunb.) を用いることもできる。

【0025】「ホソグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：ホソグミ (*Elaeagnus angustiflora* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0026】「ツルグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：ツルグミ (*Elaeagnus*

s. glabra Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0027】「アキグミ」とは、グミ科 (Elaeagnaceae)、グミ属 (*Elaeagnus*) の植物：アキグミ (*Elaeagnus umbellata* Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0028】「ヤマヤナギ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ヤマヤナギ属 (*Berchemia*) の植物：ヤマヤナギ (*Berchemia racemosa* Sieb. et Zucc.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のヨコグラノキ (*Berchemia berchemiaefolia* (Makino) Koidz.) を用いることもできる。

【0029】「ケンボナシ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ケンボナシ属 (*Hovenia*) の植物：ケンボナシ (*Hovenia dulcis* Thunb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0030】「ハマナツメ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ハマナツメ属 (*Paliurus*) の植物：ハマナツメ (*Paliurus ramosissimus* (Lour.) Poir.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のセイヨウハマナツメ (*Paliurus spina-christi* Mill.) を用いることもできる。

【0031】「クロウメモドキ」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、クロウメモドキ属 (*Rhamnus*) の植物：クロウメモドキ (*Rhamnus japonica* Maxim.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のセイヨウクロウメモドキ (*Rhamnus cathartica* L.)、イソノキ (*Rhamnus crenata* Sieb. et Zucc.)、(*Rhamnus davurica* Pall.)、シーボルトノキ (*Rhamnus utilis* Decne.)、(*Rhamnus californica* Eschs.) を用いることもできる。

【0032】「ナツメ（別名：棗、タイソウ）」とは、クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)、ナツメ属 (*Zizyphus*) の植物：ナツメ (*Zizyphus jujuba* Miller var. *inermis* Rehder = (*Zizyphus jujuba* Miller)) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のインドナツメ (*Zizyphus mauritiana* Lam.) を用いることもできる。

【0033】「パラミツ（別名：ジャックフルーツ）」とは、クワ科 (Moraceae)、パンノキ属 (*Artocarpus*) の植物：パラミツ (*Artocarpus heterophyllum* Lam.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その

他、同属種のコバラミツ (*Artocarpus integra* (Thunb.) Merrill) を用いることもできる。

【0034】「コウゾ (別名：楮)」とは、クワ科 (Moraceae)、コウゾ属 (*Broussonetia*) の植物：コウゾ (*Broussonetia kazinoki* Sieb.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアサミツ (*Broussonetia kaempferi* Sieb.)、カジノキ (*Broussonetia papyrifera* (L.) Vent.) を用いることもできる。

【0035】「ハリグワ」とは、クワ科 (Moraceae)、ハリグワ属 (*Cudrania*) の植物：ハリグワ (*Cudrania tricuspidata* (Carr.) Lav.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のカカツガユ (*Cudrania copchinchinensis* (Lour.) Kudo et Masam.) を用いることもできる。

【0036】「イチジク (別名：無花果)」とは、クワ科 (Moraceae)、イチジク属 (*Ficus*) の植物：イチジク (*Ficus carica* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアサミツ (*Ficus suriculata* Lour.)、カンテンイタビ (*Ficus awkeotsang* Makino)、イヌビワ (*Ficus erecta* Thunb.)、イアタビカズラ (*Ficus oxyphylla* Miq.)、オオイトビ (*Ficus pumila* L.)、インドボダイジュ (*Ficus religiosa* L.)、エジプトイチジク (*Ficus sycomorus* L.) を用いることもできる。

【0037】「マグワ」とは、クワ科 (Moraceae)、クワ属 (*Morus*) の植物：マグワ (*Morus alba* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いるが、その他、同属種のアサミツ (*Morus australis* Poir.)、ヤママグワ (*Morus bombycis* Koidz.)、ログワ (*Morus latifolia* (Bur.) Poir.)、モウコグワ (*Morus mongolica* (Bur.) Schneid.)、クロミグワ (*Morus nigra* L.)、アカミグワ (*Morus rubra* L.) を用いることもできる。

【0038】「ザクロ (別名：石榴)」とは、ザクロ科 (Punicaceae)、ザクロ属 (*Punica*) の植物：ザクロ (*Punica granatum* L.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0039】「ヒメザクロ」とは、ザクロ科 (Punicaceae)、ザクロ属 (*Punica*) の植物：ヒメザクロ (*Punica granatum* L. var. *nana* Pers.) の花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草を用いる。

【0040】又、本発明で使用するキントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クス

ノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) の交配種及び変種を用いることもできる。

【0041】尚、本発明のキントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水とは、各々の植物体の各種部位 (花、花穂、果皮、果実、茎、葉、枝、枝葉、幹、樹皮、根茎、根皮、根、種子又は全草など) をそのまま或いは粉碎後、公知な水蒸気蒸留装置を用いて得られた水蒸気蒸留水である。

【0042】(1) 水蒸気蒸留法

水蒸気蒸留法については、植物から精油を得る為の手段として、例えば、下記の文献より古くから知られている方法である (参考文献の所在：藤巻正生「香料の事典」p366、1980年8月27日発行／朝倉書店、亀高德平「理論応用有機化学／第21版」p13、昭和26年4月5日発行／丸善出版)。又、水蒸気蒸留装置や原理についても、上記の文献などに示されている。

【0043】尚、製造方法は公知な水蒸気蒸留装置を用いて得られた水蒸気蒸留水であれば良く、特に制限されるものではないが、得られた水蒸気蒸留水は、そのままの状態で利用できるが、必要ならば、その効果に影響のない範囲で更に、濾過、脱臭、脱色などの処理を加えても良く、脱臭・脱色などの処理手段としては、活性炭カラムなどを用いれば良く、一般的に適用される通常の手段を任意に選択して行えば良い。

【0044】又、本発明のキントラノオ科植物 (キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ)、クスノキ科植物 (バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド)、グミ科植物 (ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ)、クロウメモドキ科植物 (ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ)、クワ科植物 (バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ)、ザクロ科植物 (ザクロ、ヒメザクロ) より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水は、応用する化粧料組

成物の剤型・形態により乾燥、濃縮、或いは希釈などを任意に行い調整すれば良い。

【0045】更に、本発明のキントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水は、化粧料組成物へ含有できるが、その含有量は特に規定されるものではなく、化粧料組成物の剤型の種類、品質、期待される作用の程度によって若干異なり、通常、0.1重量%以上（以下、%で表わす）好ましくは5~50%が良い。尚、含有量が0.1%より少ないと効果が充分期待できない。

【0046】尚、本発明の化粧料組成物は、前記の必須成分に加え必要に応じ、本発明の効果を損なわない範囲内で、下記に例示する成分や添加剤を任意に選択・併用して製造することができる。

【0047】(1)各種油脂類

アボガド油、アーモンド油、ウイキョウ油、エゴマ油、オリーブ油、オレンジ油、オレンジラファ油、ゴマ油、カカオ脂、カミツレ油、カロット油、キューカンバー油、牛脂脂肪酸、クイナッツ油、サフラワー油、シア脂、液状シア脂、大豆油、ツバキ油、トウモロコシ油、ナタネ油、パーシク油、ヒマシ油、綿実油、落花生油、タートル油、ミンク油、卵黄油、パーム油、パーム核油、モクロウ、ヤシ油、牛脂、豚脂又はこれら油脂類の水素添加物（硬化油等）など。

【0048】(2)ロウ類

ミツロウ、カルナバロウ、鯨ロウ、ラノリン、液状ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、カンデリラロウ、モンタンロウ、セラックロウ、ライスワックス、スクワレン、スクワラン、プリスタンなど。

【0049】(3)鉱物油

流動パラフィン、ワセリン、パラフィン、オゾケラド、セレシン、マイクロクリスタンワックスなど。

【0050】(4)脂肪酸類

ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、トール油、ラノリン脂肪酸などの天然脂肪酸、イソノナン酸、カブロン酸、2-エチルブタン酸、イソペンタン酸、2-メチルペンタン酸、2-エチルヘキサン酸、イソペンタン酸などの合成脂肪酸。

【0051】(5)アルコール類

エタノール、イソピロパノール、ラウリルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール、オレイルアルコ

ール、ラノリンアルコール、コレステロール、フィトステロールなどの天然アルコール、2-ヘキシルデカノール、イソステアリルアルコール、2-オクチルドデカノールなどの合成アルコール。

【0052】(6)多価アルコール類

酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、ジエチレングリコールモノメチルエーテル、ジエチレングリコールモノエチルエーテル、ポリエチレングリコール、酸化プロピレン、プロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリン、ペンタエリトリール、ソルビトール、マンニトールなど。

【0053】(7)エステル類

ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、ステアリン酸ブチル、ラウリン酸ヘキシル、ミリスチン酸ミリスチル、オレイン酸オレイル、オレイン酸デシル、ミリスチン酸オクチルドデシル、ジメチルオクタノ酸ヘキシルデシル、乳酸セチル、乳酸ミリスチル、フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、酢酸ラノリン、モノステアリン酸エチレングリコール、モノステアリン酸プロピレングリコール、ジオレイン酸プロピレングリコールなど。

【0054】(8)金属セッケン類

ステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム、パルミチン酸亜鉛、ミリスチン酸マグネシウム、ラウリン酸亜鉛、ウンデシレン酸亜鉛など。

【0055】(9)ガム質、糖類又は水溶性高分子化合物

アラビアゴム、ベンゾインゴム、ダンマルゴム、グアヤク脂、アイルランド苔、カラヤゴム、トラガントゴム、キャロブゴム、クインシード、寒天、カゼイン、乳糖、果糖、ショ糖又はそのエステル、トレハロース又はその誘導体、デキストリン、ゼラチン、ペクチン、デンプン、カラギーナン、カルボキシメチルキチン又はキトサン、エチレンオキサイドなどのアルキレン(C2~C4)オキサイドが付加されたヒドロキシアルキル(C2~C4)キチン又はキトサン、低分子キチン又はキトサン、キトサン塩、硫酸化キチン又はキトサン、リン酸化キチン又はキトサン、アルギン酸又はその塩、ヒアルロン酸又はその塩、コンドロイチン硫酸又はその塩、ヘパリン、エチルセルロース、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、カルボキシエチルセルロース、カルボキシエチルセルロースナトリウム、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ニトロセルロース、結晶セルロース、ポリビニルアルコール、ポリビニルメチルエーテル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルメタアクリレート、ポリアクリル酸塩、ポリエチレンオキサイドやポリプロピレンオキサイドなどのポリ

アルキレンオキサイド又はその架橋重合物、カルボキシビニルポリマー、ポリエチレンイミンなど。

【0056】(10)界面活性剤

アニオン界面活性剤（アルキルカルボン酸塩、アルキルスルホン酸塩、アルキル硫酸エステル塩、アルキルリン酸エステル塩）、カチオン界面活性剤（アルキルアミン塩、アルキル四級アンモニウム塩）、両性界面活性剤：カルボン酸型両性界面活性剤（アミノ型、ベタイン型）、硫酸エステル型両性界面活性剤、スルホン酸型両性界面活性剤、リン酸エステル型両性界面活性剤、非イオン界面活性剤（エーテル型非イオン界面活性剤、エーテルエステル型非イオン界面活性剤、エステル型非イオン界面活性剤、ブロックポリマー型非イオン界面活性剤、含窒素型非イオン界面活性剤）、その他の界面活性剤（天然界面活性剤、タンパク質加水分解物の誘導体、高分子界面活性剤、チタン・ケイ素を含む界面活性剤、フッ化炭素系界面活性剤）など。

【0057】(11)各種ビタミン類

ビタミンA群：レチノール、レチナール（ビタミンA1）、デヒドロレチナール（ビタミンA2）、カロチン、リコピン（プロビタミンA）、ビタミンB群：チアミン塩酸塩、チアミン硫酸塩（ビタミンB1）、リボフラビン（ビタミンB2）、ピリドキシン（ビタミンB6）、シアノコバラミン（ビタミンB12）、葉酸類、ニコチン酸類、パントテン酸類、ビオチン類、コリン、イノシトール類、ビタミンC群：ビタミンC酸又はその誘導体、ビタミンD群：エルゴカルシフェロール（ビタミンD2）、コレカルシフェロール（ビタミンD3）、ジヒドロタキステロール、ビタミンE群：ビタミンE又はその誘導体、ユビキノノール類、ビタミンK群：フィトナジオン（ビタミンK1）、メナキノール（ビタミンK2）、メナジオン（ビタミンK3）、メナジオール（ビタミンK4）、その他、必須脂肪酸（ビタミンF）、カルニチン、フェルラ酸、γ-オリザノール、オロツト酸、ビタミンP類（ルチン、エリオシトリン、ヘスペリジン）、ビタミンUなど。

【0058】(12)各種アミノ酸類

バリン、ロイシン、イソロイシン、トレオニン、メチオニン、フェニルアラニン、トリプトファン、リジン、グリシン、アラニン、アスパラギン、グルタミン、セリン、システイン、シスチン、チロシン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、グルタミン酸、ヒドロキシリジン、アルギニン、オルニチン、ヒスチジンなどや、それらの硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩、クエン酸塩、或いはピロリドンカルボン酸のごときアミノ酸誘導体など。

【0059】(13)植物又は動物系原料由来の種々の添加物

これらは、添加しようとする製品種別、形態に応じて常法的に行われる加工（例えば、粉碎、製粉、洗浄、加水

分解、醗酵、精製、圧搾、抽出、分画、ろ過、乾燥、粉末化、造粒、溶解、滅菌、pH調整、脱臭、脱色などを任意に選択、組合わせた処理）を行い、各種の素材から任意に選択して供すれば良い。

【0060】尚、抽出に用いる溶媒については、供する製品の使用目的、種類、或いは後に行う加工処理等を考慮した上で選択すれば良いが、通常では、水、水溶性有機溶媒（例えば、エタノール、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコールなど）の中から選ばれる1種もしくは2種以上の混液を用いるのが望ましい。但し、用途により有機溶媒の含有が好ましくない場合においては、水のみを使用したり、或いは抽出後に除去しやすいエタノールを採用し、単独又は水との任意の混液で用いたりすれば良く、又、搾取抽出したものでも良い。

【0061】尚、植物又は動物系原料由来の添加物を、全身用又は局所用の外用剤、化粧品類に供する場合、皮膚や頭髮の保護をはじめ、保湿、感触・風合いの改善、柔軟性の付与、刺激の緩和、芳香によるストレスの緩和、細胞賦活（細胞老化防止）、炎症の抑制、肌質・髪質の改善、肌荒れ防止及びその改善、発毛、育毛、脱毛防止、光沢の付与、清浄効果、疲労の緩和、血流促進、温浴効果などの美容的効果のほか、香付け、消臭、増粘、防腐、緩衝などの効果も期待できる。

【0062】原料とする具体的な植物（生薬）としては、例えば、アーモンド（へん桃）、アイ（藍葉）、アオカズラ（清風藤）、アオキ（青木）、アオギリ又はケナシアオギリ（梧桐）、アオツツラフジ（木防已）、アカシア、アカショウマ（赤升麻）、アカスグリ「果実」、アカツメクサ、アカブドウ、アカミノキ（ログウッド）、アカメガシワ（赤芽柏）、アカネ（茜草根）、アカヤジロウ又はジロウ（地黄）、アギ（阿魏）、アキカラマツ、アキニレ（榔榆皮）、アグアイー・グアスー、アグアヘ（オオミテングヤシ）、アケビ（木通）、アサ（麻子仁）、マルバアサガオ又はアサガオ（牽牛子）、アジサイ（紫陽花）、アシタバ（明日葉）、アズキ（赤小豆）、アセロラ、アセンヤク（阿仙薬）、アチラ（ショクヨウカンナ）、アニス、アビウ、アビウラーナ、アブラナ、アベマキ「果実」、アボカド、アマ、アマチャ（甘茶）、アマチャヅル、アマドコロ（玉竹）、アマナ（光慈姑）、アマランサス（ヒユ、ハゲイトウ、ヒモゲイトウ、センニンコク、スギモリゲイトウ、ホソアオゲイトウ、アオゲイトウ、ハリビユ、アマラントウス・ヒポコンドリアクス）、アミガサユリ又はバイモ（貝母）、アリストロメリア（ユリズイセン）、アルカナ（アルカンナ）、アルガローボ（キャベ）、アルテア、アルニカ、アルビニア又はカツマダイ（ソウズク）、アロエ（蘆薈）、アロエベラ、アンジェリカ、アンズ又はホンアンズ（杏仁）、アンソッコウ（安息香）、イエローサボテ、イガコウゾリナ（地胆頭）、イカリソウ又はヤチマタイカリソウ（インヨウカク）、イグサ（灯心草）、イタドリ（虎杖根）、イチイ（一位）、イチゴ、イチジク（無花果「果実」、

業」)、イチハツ(一初)、イチビ(冬葵子)、イチヤクソウ(一葉草)、イチヨウ(銀杏「種子、葉」)、イトヒメハギ(遠志)、イナゴマメ、イヌナヅナ(テイレキシ)、イヌビユ(ホナガイヌビユ)、イネ「種子、種皮」、イノンド「種子」、イブキジャコウソウ、イラクサ、イランイラン、イワタバコ(岩菫)、イワヒバ又はイワマツ(巻柏)、ウーロン茶、ウイキョウ(茴香)、ウィート(チブサノキ)、ウキヤガラ(三稜)、ウグイスカグラ「果実」、ヒメウイキョウ、ウコン(鬱金)、ウキクサ(浮萍)、ウスバサイシン又はケイリンサイシン又はオウシュウサイシン(細辛)、ウスベニアオイ、ウスベニタチアオイ、ウツボグサ(夏枯草)、ウド又はシシウド(羌活、独活、唐独活)、ウニヤデガト(ウンカリア、キャツクロー)、ウバ茶、ウメ(烏梅「種子、果肉」)、ウラジロガシ、ウウルシ(クサコケモモ)、ウンシュウミカン(陳皮)、エストラゴン、エゾウコギ(蝦夷五加)、エチナシ(ホソバムラサキバレンギク)、エニシダ、エノキタケ(榎茸)、エビスグサ又はカシヤ・トーラ(決明子)、エルカンブレ、エルダーベリー「果実」、エレミ、エリンギ又はプレロータスエリンジ、エンジュ(槐花、槐花米)、オウギ又はキバナオウギ(黄耆)、オウセイ(ナルコユリ、カギクマバナナルコユリ)、オウヒササノユキ又はササノユキ、オウレン(黄連)、オオガタホウケン、オオカラスウリ(カロコン)、オオグルマ(土木香)、オオツツラフジ(防己)、オオバコ(車前子、車前草)、オオハシバミ(榛子)、オオハシラサボテン、オオバナオケラ又はオケラ(白朮)、オオバナサルズベリ(バナバ)、オオバヤシャブシ「果実」、オオホシグサ(穀精草)、オオミアカテツ、オオミサンザシ又はサンザシ(山査子)、オオムギ(大麦)、オカ、オカゼリ(蛇床子)、オクラ「果実」、オグルマ(旋覆)、オタネニンジン又はトチバニンジン(人參)、オトギリソウ又はコゴメバオトギリソウ又はセイヨウオトギリソウ(第切草)、オドリコソウ(統断)、オナモミ(蒼耳子)、オニグルミ、オニドコロ又はトコロ又はナガドコロ(ヒカイ)、オニノヤガラ(天麻)、オニユリ又はササユリ又はハカタユリ(百合)、オノニス、オヒョウ(裂葉榆)、オミナエシ(敗醬)、オユーコ、オランダカラシ(クレソン)、オランダゼリ、オランダミツバ、オリブ「果実、種子、葉」、オレガノ、オレンジ「果実、果皮」、カイケイジオウ(熟地黄)、カカオ「果実、果皮、種子」、カキ(柿蒂「葉」)、カギカズラ(釣藤鈎)、カキドオシ又はカントリソウ(連銭草)、ガクアジサイ、カシア、カキノキ(楮実「果実」)、ガジュツ(菰朮)、カシワ(榭樹、榭葉)、カスカリラ、カスカラサグラダ、カスミソウ、カセンソウ、カニクサ(金沙藤)、カニーワ、カーネーション、カノコソウ(吉草根)、カバノキ又はシダレカンバ(白樺)、ガーベラ、カボチャ、カボックノキ「種子」、カホクサンショウ(蜀椒)、ガマ(蒲黄)、カミツレ又はローマカミツレ、カミヤツデ(通草)、カムカム(カモカモ)、カラー、カラクサケマン、カラスウリ又はシ

ナカラスウリ(王瓜)、カラスビシャク(半夏)、カラスムギ、ガラナ「種子」、カラホオ(厚朴)、カラヤ、ガリュウ、カリン(木瓜)、ガルシニア、カワミドリ、カワラサイコ(委陵菜、翻白草)、カワヂシャ、カワラタケ、カワラナデシコ(石竹)又はエゾカワラナデシコ(瞿麦、瞿麦子)、カワラニンジン(青蒿)、カワラヨモギ(茵陈蒿)、カンスイ(甘遂)、カンゾウ(甘草)、カンタラアサ、カンドリラ、カントウ、カンナ、キイチゴ(エゾイチゴ、オランダイチゴ、エビガライチゴ、ナワシロイチゴ、モミジイチゴ、ヨーロッパキイチゴ)、キウイ「果実、葉」、キカラスウリ(瓜呂根)、キキョウ(桔梗、桔梗根)、キク(菊花、シマカンギク、チョウセンノギク)、キクタニギク、キササゲ(梓実)、ギシギシ(羊蹄根)、キジツ(枳实)、キズタ、キダチアロエ、キダチハッカ、キナ、キナノキ(シンコーナ、アカキナノキ)、キヌア(キノア)、キハダ(黄柏)、ギムネマ・シルベスタ、キメンカク、キャベツ、キャベブ「未熟果」、キュウリ、ギョリュウ(西河柳、てい柳)、キラジャ・サボナリア、キラヤ、キランソウ(金瘡小草)、キンカン「果実」、ギンセカイ、キンブセン、キンマ、キンミズヒキ(仙鶴草)、グアペーバ・ヴェルメーリヤ、グアバ「果実」、グアユーレ、ケルクス・インフェクトリア(没食子)、ククイナツツ、クコ(枸杞、枸杞子、枸杞葉、地骨皮)、クサスギカズラ(天門冬)、クズ(葛根)、クスノキ、グースベリー「果実」、クソニンジン(黄花蒿)、クティティリバー、クチナシ(山梔子)、クヌギ(榎ソウ)、クブアス、クマザサ、クマツヅラ(馬鞭草)、クララ(苦参)、クランベリー「果実」、クリ「種子、果実、渋皮」、クルクリゴ・ラチフォリア「果実」、グレープフルーツ「果実・葉」、クロウメモドキ、クロガネモチ(救必應)、クロバナヒキオコシ又はヒキオコシ(延命草)、クローブ(丁子、丁香)、グンバイナズナ(セキメイ、セキメイシ)、ケイガイ(荊芥、荊芥穗)、ケイトウ(鶏冠花、鶏冠子)、ゲッカビジン、ゲッケイジュ(月桂樹)、ケナシサルトリイバラ(土茯苓、山帰来)、ゲンチアナ、ゲンノショウコ(老鸛草)、ケンボナシ(キグシ)、コウキセツコク、キシユウミカン(コウジ、タチバナ、オオベニミカン、フクレミカン、サガミコウジ、ボンカン、サンタラ(橘皮))、コウシンバラ(月季花)、コウスイハッカ、コウゾ「果実」、コウチャ(紅茶)、コウホネ(川骨)、コウホン(藁本、唐藁本)、コウリヤン、コウリョウキョウ(高良姜)、コエンドロ「果実」、コオウレン(胡黄連)、コガネバナ(黄ゴソ)、コケモモ(越橘)、ココヤシ「果実」、ゴシユユ(呉茱萸)、ゴシヨイチゴ(覆盆子)、コショウ(胡椒)、コスモス、コバイバルサム、コーヒー「種子、葉」、コブシ又はモクレン(辛夷)、ゴボウ(牛蒡、牛蒡子)、コボタンヅル、ゴマ(胡麻)、ゴマノハグサ(玄参)、ゴミシ(五味子)、サネカズラ又はビナンカズラ又はマツブサ、コムギ(小麦)、米又は米糠「赤糠、白糠」、コメ油、コーラ・アクミナタ「種子」、コ

ーラ・ペラ「種子」、コロニーリヤ、コロハ「果実」、コロombo、コンズランゴ、コンブ、コンニャク、コンフリー(鰭張草)、サイザル(サイザルアサ)、サキシマボタンヅル又はシナボタンヅル又はシナセンニンソウ(威霊仙)、サクラ(オオシマザクラ、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、エドヒガシ、マメザクラ、ミヤマザクラ、ソメイヨシノ、タカネザクラ、カスミザクラ、コヒガン、サトザクラ、カンザクラ「葉、花、果実、樹皮(桜皮)」)、サクランボ、ザクロ、ササ、サザンカ、サジオモダカ(沢瀉)、サツマイモ、サトウキビ、サトウダイコン、サネブトナツメ(酸棗仁)、サフラン(番紅花、西紅花)、サボジラ、サボテアマリヨ、ザボン「果実」、サボンソウ、サーモンベリー「果実」、サラシナショウマ(升麻)、サルビア(セージ)、サワギキョウ(山梗菜)、サワグルミ(山胡桃)、サンカクサボテン、サングレデグラード(クロトン)、サンシクヨウソウ、サンシチニンジン(三七人參)、サンシュユ(山茱萸)、サンショウ(山椒)、サンズコン(山豆根)、シア(カリテ)、シアノキ「果実」、シイタケ(椎茸)、シオン(紫苑)、ジキタリス、シクンシ(使君子)、シソ又はアオジソ又はチリメンジソ又はカタメンジソ(紫蘇葉、紫蘇子)、シタン、シナノキ、シナホオノキ、シナレンギョウ(連翹)、シメジ(ヒンシメジ、シャカシメジ、ハタケシメジ、オシロイシメジ、ブナシメジ、ホンジメシ、シロタモギタケ)、シモクレン(辛夷)、シモツケソウ、ジャガイモ、ジャクヤク(芍薬)、シャジン(沙参)、ジャスミン(マツリカ)、ジャンノヒゲ(麦門冬)、シュクコンカスミソウ、シュクシャミツ(砂仁、縮砂)、ジュズダマ、シュロ「果実」、ショウガ(生姜)、ジョウザンアジサイ(常山)、ショウブ(菖蒲、菖蒲根)、ショズク「果実」、シラカシ「種子」、シロゴチョウ「種子」、シロツメクサ(クローバー)、シロトウアズキ(鶏骨草)、シロバナイリス(ニオイイリス)、シロバナツタ「花」、シロミナンテン(南天実)、シンコナサクシルブラ、ジンチョウゲ(瑞香、瑞香花、沈丁花)、シンナモン、シンナモム・カシヤ(桂皮)、スイカ(西瓜)、スイカズラ(金銀花、忍冬)、スイバ(酸模)、スイムベリー「果実」、スターアップル、ステビア、ストロベリー「果実」、スズサイコ(徐長卿)、スギナ(間荆)、スベリヒユ(馬齒けん、馬齒けん子)、スモモ「果実」、セイヨウアカマツ「球果」、セイヨウカラマツ、セイヨウキズタ、セイヨウグルミ、セイヨウサンザシ、セイヨウタンポポ、セイヨウトチノキ(マロニエ)、セイヨウナシ「果実」、セイヨウナツユキソウ、セイヨウニワトコ(エルダー)、セイヨウネズ(ジュニパー、杜松)、セイヨウノコギリソウ(ミルフォイル)、セイヨウバラ、セイヨウフウチョウボク、セイヨウヤドリギ、セイヨウハッカ又はセイヨウヤマハッカ、セイヨウワサビ、セキショウ(石菖根)、セッコク(石斛)、セドロ(ボウシュウボク)、ゼニアオイ、ヒロハセネガ、セネガ、セリ、セロリ、センキュウ(川ギョウ)、センシンレ

ン(穿心連)、センダン、センニンサボテン、センナ「果実、葉」、センニンソウ(大蓼)、センブリ(当薬)、ソウカ(草果)、ゾウゲチュウ、ソシンロウバイ、ソバ「種実」、ソメモノイモ、ダイオウ(大黃)、大根、大豆、ダイダイ(橙皮、枳実)、タカサブロウ(旱蓮草)、タカトウダイ(大戟)、タカワラビ(狗脊)、ダークスイートチェリー「果実」、タチアオイ、タチジャコウソウ(タイム、百里香)、タチドコロ(ヒカイ)、タチヤナギ、タマリン「種子」、タマネギ、タムシバ(辛夷)、タラノキ「果実、葉、根皮」、ダリア(テンジクボタン)、タルウィ、タンシウチワ、タンジン(丹參)、タンポポ(蒲公英)又はシロバナタンポポ又はモウコタンポポ、ダンマル、チェリー「果実」、チガヤ「果実、根、芽」、チクセツニンジン(竹節人參)、チコリ、チャンカピエドラ(キダチコミカンソウ)、チョウセンダイオウ(大黃)、チョウセンニレ(蕪夷)、チョウセンヨモギ(艾葉)、チョレイマイタケ(猪苓)、チョロギ、ツキミソウ、ツクリタケ(マッシュルーム)、ツバキ、ツボクサ、ツメクサ(漆姑草)、ツユクサ(鴨跖草)、ツルアズキ(赤小豆)、ツルドクダミ(何首烏)、ツルナ(蕃杏)、ツルニンジン(四葉參)、ツワブキ、デイコ、テウチグルミ、デュベリー「果実」、チューリップ、チョコノステイ、テングサ、テンチャ(甜茶)、テンダイウヤク(烏藥)、トウガ(冬瓜子)、トウカギカズラ、トウガラシ(番椒)、トウキ(当帰)、トウキンセンカ(マリーゴールド)、トウナベナ(川断)、トウモロコシ又はトウモロコシ毛(南蛮毛)、トウネズミモチ(女貞子)、トウリンドウ又はチョウセンリンドウ(竜胆)、トクサ(木賊)、ドクダミ(十葉)、トコン(吐根)、トシシ又はマメダオシ又はネナシカズラ、トチュウ(杜仲「樹皮、葉、根」)、トネリコ(秦皮)、トマト、トラガン、トリアカンソス「種子」、トルコキキョウ、トルメンチラ、ドロノキ、トロロアオイ、ナイゼリアベリー「果実」、ナガイモ又はヤマノイモ(山藥)、ナギイカダ(ブッチャーブルーム)、ナギナタコウジュ、ナズナ、ナタネ、ナタマメ又はタテハキ(刀豆)、ナツミカン、ナツメ(大棗)、ナニワイバラ(金桜子)、ナベナ(續断)、ナメコ、ナルコユリ(黄精)、ナンキンマメ(落花生)、ナンテン(南天実)、ナンバンカラムシ(苧麻)、ニオイスマレ、ニガキ(苦木)、ニガヨモギ(苦艾)、ニクズク、ケイ又はニッケイ又はセイロンニッケイ又はヤブニッケイ(桂皮)又はケイシ(桂枝)、ニラ(韭子)、ニワトコ(接骨木「果実、花、茎、葉」)、ニンニク(大蒜)、ヌルデ(五倍子)、ネギ、ネムノキ又はネブ又はネビ又はネムリノキ又はジゴクバナ(合歡)、ノアザミ(大薊)、ノイバラ(営実)、ノウゼンカズラ(凌霄花)、ノゲイトウ、ノコギリソウ、ノダケ(前胡)、ノバラ、ノモモ、パイナップル「果実」、ハイビスカス(ブッソウゲ、フウリンブッソウゲ、ローゼル)、ハイリンドウ、ハウチワ、パウ・ドーセ、ハカマウラボシ(骨碎補)、ハクセン(白麝皮)、ハクルベリー「果実」、ハコベ(繁縷)、ハシバミ(榛子)、

ハシリドコロ(ロート根)、バジル、ハス(蓮、蓮肉、蓮子)、パセリ(オランダゼリ)、ハダカムギ、バタタ、ハチク又はマダケ(竹茹)、パチョリー、ハッカ(薄荷、薄荷葉)、ハトムギ(ヨクイニン)、ハナスゲ(知母)、バナナ、ハナハッカ、ハナビシ(シツリシ、シシツリ)、バニラビーンズ、パパイヤ、ハハコグサ(鼠麴草)、バハロボボ、ハブ「全草、茎、葉」、パブリカ、ハマゴウ又はミツバハマゴウ(蔓荊子)、ハマスゲ(香附子)、ハマビシ(シツリ子)、ハマナス(マイカイ花)、ハマボウフウ(浜防風)、ハママリス、パーム、バラ(薔薇)、バラータ、バラタゴムノキ、ハラタケ(ハラタケ、シロオオハラタケ、ウスキモリノカサ)、ハラン、バリウルス(セイヨウハマナツメ)、バリエタリア、バルサミーナ(ツルレイシ、ニガウリ)、ハルニレ(楡皮、楡白皮、楡葉)、バルバスコ、ハルリンドウ、ハンダイカイ(胖大海)、パンノキ、ヒオウギ(射干)、ヒカゲツルニンジン(党参)、ピーカンナッツ、ヒガンバナ(石蒜、蔓珠沙華)、ヒグルマダリア、ヒシ(菱実)、ピスタチオ、ビート、ヒトツバ(石葦)、ヒトツバエニシダ、ヒナギク(デージー)、ヒナタイノコズチ(牛膝)、ヒノキ、ヒバ、ヒマシ、ヒマワリ、ピーマン、ヒメウズ(天葵)、ヒメガマ(香蒲)、ヒメマツタケ(カワリハラタケ、ヒロマツタケ)、ビメンタ「果実」、ビャクシ、ビャッキュウ、ヒユ「果実」、ビロウドアオイ、ヒロハオキナグサ(白頭翁)、ビワ「果実、葉、茎」、ピンロウ(大服皮、檳榔子)、プーアル茶(普洱茶)、フウトウカズラ(南藤)、フキ、フキタンボボ(款冬花、款冬葉)、フジバカマ(蘭草)、フジマメ(扁豆)、フジモドキ(チョウジザクラ、堇花)、ブドウ「果実、果皮、種子、葉」、ブナ、フユムシナツクサタケ(冬虫夏草)、ブラジルカンゾウ、ブラジルニンジン、ブラックカーラント「果実」、ブラックベリー、ブラーニエン、ブラム「果実」、フルセラリア、ブルーベリー(セイヨウヒメスノキ)、ブルー、フローラルブランカ、ブロンドサイリウム、ブンドウ(緑豆)、ヘーゼルナッツ、ヘチマ、ベニバナ(紅花)、ヘネケン、ベラドンナ、ベリー「果実」、ベルセア、ベルビアンバーグ、ペレスキア・グランディフォリア、ベンケイソウ又はイキクサ(景天)、ボイセンベリー「果実」、ホウキギ又はニワクサ又はネンドウ又はハハキギ・コキア(地膚子)、ホウセンカ(鳳仙、急性子、透骨草)、ボウテリア・サボタ、ボウテリア・ルクマ、ホウノキ、ボウフウ(防風)、ホウレンソウ、ホオズキ(登呂根)、ホオノキ(和厚朴、朴)、ボケ(木瓜)、ホソバアブラギク(苦ヨク)、ホソバオグルマ、ホソバナオケラ(蒼朮)、ホソバノキリンソウ(景天三七)、ホソババレンギク、ボダイジュ(菩提樹)、ボタン(牡丹「花、葉、茎、樹皮」)、ボタンピ(牡丹皮)、ホップ、ホホバ、ボリジ(ルリチシャ)、ボルドー、ホワートルベリー「果実」、ホンオニク(肉じゅ蓉、大芸)、ホンセッコク(鉄皮石斛、雀山石斛)、マイズルテンナンショウ(天南星)、マイタケ(舞茸)、マオウ(麻黄)、マカ、マ

カデミアナッツ、マーガレット(モクシュンギク)、マクリ(海人草)、マグワ(桑白皮「樹皮、葉」)、マグノリア・スプレングリ、マサランズーバ、マサランズーバ・ド・セアラ、マシェイラ・デ・ボイ、マシユア(タマノウゼンハレン、キュウコンキンレンカ)、マタタビ(木天蓼)、マツカサ、松「葉、樹皮、根」、マツタ・オーリョ、マツホド(茯苓)、マティコ(コルドンシージョ)、マヨラム(ハナハッカ)、マルバノジャジン(苦参)、マルベリー「果実」、マルメロ、マレイン(ビロウドモウズイカ)、マンゴー、マンゴスチン、マンサーニヤ(アンデスカミツレ)、マンシュウグルミ、マンダリン「果実」、マンネンタケ(靈芝)、キジツ(枳実「果実」)、ミシマサイコ(柴胡)、ミズオオバコ又はミズアサガオ(竜舌草)、ミゾカクシ(半边蓮)、ミソハギ(千屈菜)、ミチヤナギ又はニワヤナギ(篇蓄)、ミツガシワ、ミツバ、ミドリサボテ、ミドリハッカ、ミモザ、ミョウガ、ミラクルフルーツ「果実」、ミルラ、ミロバラン、ムギワラギク、ムクゲ(木槿)、ムクノキ、ムクロジ(延命皮)、ムニヤ、ムラサキ(紫根)、ムラサキシキブ又はオオムラサキシキブ(紫珠)、ムラサキトウモロコシ、ムラサキナツフジ(昆明鶏血藤)、メガカンサ・オープンティカ、メハジキ(益母草)、メボウギ、メラロイカ、メリッサ、メリロート、メロン「果実」、モウコヨモギ、モウソウチク、モクキリン、モジェ(コショウボク)、モッコウ(木香)、モミジバダイオウ、モモ(桃「葉、種子、花、果実」)、モヤシ、モレロチェリー「果実」、モロヘイヤ(黄麻)、ヤカワムラサキイモ、ヤクチ(益智)、ヤグルマソウ(ヤグルマギク)、ヤグルマハッカ、ヤーコン、ヤシャブシ(矢車)又はヒメヤシャブシ又はオオバヤシャブシ「果実、果皮、果穂」、ヤチヤナギ、ヤツデ(八角金盤)、ヤドリギ(柳寄生)、ヤナギ(カワヤナギ、タチヤナギ、シダレヤナギ、アカメヤナギ、ネコヤナギ、イヌコリヤナギ、キヌヤナギ、コリヤナギ、ウンリュウヤナギ、ミヤマヤナギ、ヤシ、ヤマヤナギ、オオバヤナギ、タイリクキヌヤナギ、キツネヤナギ、ドロノキ)、ヤナギタデ「葉、茎」、ヤブガラシ、ヤブコウジ(紫金牛)、ヤブタバコ(鶴虱、天名精)、ヤマゴボウ(商陸)、ヤマハンノキ(山榛)、ヤマモモ(楊梅皮)、ヤマヨモギ、ユーカリ、ユキノシタ(虎耳草)、ユッカ又はフレビフォリア、ユズ「果実」、ユリ、ヨロイグサ、ヨモギ(艾葉)、ライガン(雷丸)、ライム「果実」、ライムギ、ラカンカ「果実」、ラズベリー「葉、果実」、ラタニア(クラメリア)、ラッキョウ又はエシャロット(薤白)、ラベンダー、リュウガン(竜眼肉)、リュウゼツラン(アオノリュウゼツラン、フクリンリュウゼツラン)、リョクチャ(緑茶)、リンゴ「果実、種子、葉、根」、リンドウ、ルバス又はスアビシムス(甜涼)、レイシ(荔枝、荔枝核)、レタス(チシャ)、レッドカーラント「果実」、レッドピタヤ、レモン「果実」、レモングラス、レンギョウ又はシナレンギョウ(連翹)、レンゲソウ、ロウバイ(蠟梅)、ロウヤシ、

ロコン(ヨシ、蘆根)、ローガンベリー「果実」、ローズマリー(マンネンロウ)、ローズヒップ(ノバラ)、ワサビ、ワタフジウツギ(密蒙花)、ワレモコウ(地榆)などが挙げられる。

【0063】又、その他の海水類、例えば、海水塩、海水乾燥物、死海又は大西洋又は太平洋の海より得た無機塩(塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、塩化カリウムなど)、海泥又は泥(ファンゴ)類、例えば、イタリアファンゴ、ドイツファンゴ、アイフェルファンゴ、フライブルグファンゴなどの各地の海泥又は泥(含有成分: 二酸化珪素、二酸化チタン、酸化アルミニウム、酸化鉄、酸化マンガン、酸化ナトリウム、酸化カリウム、酸化マグネシウム、酸化カルシウム、酸化ストロンチウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、クロム、鉄、銅、ニッケル、亜鉛、鉛、マンガ、ヒ素、水)、聖徳石など。

【0064】海藻類としては、海藻[緑藻類: クロレラ・ブルガリス、クロレラ・ピレノイドサ、クロレラ・エリプソイデア、アオノリ(ウスバアオノリ、スジアオノリ、ヒラアオノリ、ボウアオノリ、ホソエダアオノリ)、アナアオサ(アオサ)]、海藻[褐藻類: コンブ(マコンブ、リシリコンブ、ホソメコンブ、ミツイシコンブ)、ワカメ、ヒロメ、アオワカメ、ジャイアントケルプ(マクロシステイス・ピリフェラ、マクロシステイス・インテグリフォリア、ネオシステイス・ルエトケアーナ)、ヒジキ、ヒバマタ、ウミウチワ、ウスバウミウチワ、キレバノウミウチワ、アカバウミウチワ、コナウミウチワ、オキナウチワ、ウスユキウチワ、エツキウミウチワ]、海藻[紅藻類: ヒジリメン、マクサ(テングサ)、ヒラクサ、オニクサ、オバクサ、カタオバクサ、ヤタバグサ、ユイキリ、シマテングサ、トサカノリ、トゲキリンサイ、アマクサキリンサイ、キリンサイ、ビヤクシンキリンサイ、ツノマタ、オオバツノマタ、トチャカ(ヤハズツノマタ)、エゾツノマタ、トゲツノマタ、ヒラコトジ、コトジツノマタ、スギノリ、シキンノリ、カイノリ、イボツノマタ、ヤレウスバノリ、カギウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、アカモミジノリ]などが代表的なものとして挙げられる。

【0065】又、その他の藻類、例えば、緑藻類(クラミドモナス属: クラミドモナス、アカユキモ、ドウナリエラ属: ドウナリエラ、クロロコッカス属: クロロコッカス、クワノミモ属: クワノミモ、ボルボックス属: オオヒゲマワリ、ボルボックス、パルメラ属、ヨツメモ属、アオミドロ属: ヒザオリ、アオミドロ、ツルギミドロ属、ヒビミドロ属: ヒビミドロ、アオサ属: アナアオサ、アミアオサ、ナガアオサ、カワノリ属: カワノリ、フリッチエラ属、シオグサ属: オオシオグサ、アサミドリシオグサ、カワシオグサ、マリモ、バロニア属: タマゴバロニア、タマバロニア、マガタマモ属: マガタマモ、イワツタ属: フサイワツタ、スリコギツタ、ヘライ

ワツタ、クロキツタ、ハネモ属、ミル属: ミル、クロミル、サキブチミル、ナガミル、ヒラミル、カサノリ属: カサノリ、ジュズモ属: フトジュズモ、タマジュズモ、ミゾジュズモ、ミカヅキモ属、コレカエテ属、ツヅミモ属、キッコウグサ属: キッコウグサ、ヒトエグサ属: ヒトエグサ、ヒロハノヒトエグサ、ウスヒトエグサ、モツキヒトエ、サヤミドロ属、クンショウモ属、スミレモ属: スミレモ、ホシミドロ属、フシナシミドロ属など)。

【0066】藍藻類(スイゼンジノリ属: スイゼンジノリ、アオコ属、ネンジュモ属: カワタケ、イシクラゲ、ハッサイ、ユレモ属、ラセンモ(スピリリナ)属: スピリリナ、トリコデスミウム(アイアカシオ)属など)。

【0067】褐藻類(ピラエラ属: ピラエラ、シオミドロ属: ナガミシオミドロ、イソブドウ属: イソブドウ、イソガワラ属: イソガワラ、クロガシラ属: グンセンクロガシラ、カシラザキ属: カシラザキ、ムチモ属: ムチモ、ヒラムチモ、ケベリグサ、アミジグサ属: アミジグサ、サキヒロアミジ、サナダグサ属: サナダグサ、フクリンアミジ、コモングサ属: コモングサ、ヤハズグサ属: エゾヤハズ、ヤハズグサ、ウラボシヤハズ、ジガミグサ属: ジガミグサ、ウミウチワ属: ウミウチワ、コナウミウチワ、アカバウミウチワ、ナミマクラ属: ヒルナミマクラ、ソメワケグサ属: ソメワケグサ、ナバリモ属: ナバリモ、チャソウメン属: モツキチャソウメン、マツモ属: マツモ、ナガマツモ属: ナガマツモ、オキナワモズク属: オキナワモズク、ニセフトモズク属: ニセフトモズク、フトモズク属: フトモズク、イシモズク属: イシモズク、クロモ属: クロモ、ニセモズク属: ニセモズク、モズク属: モズク、イシゲ属: イシゲ、イロロ、イチメガサ属: イチメガサ、ケヤリ属: ケヤリ、ウミボッス属: ウミボッス、ウルシグサ属: ウルシグサ、ケウルシグサ、タバコグサ、コンブモドキ属: コンブモドキ、ハバモドキ属: ハバモドキ、ハバノリ属: ハバノリ、セイヨウハバノリ属: セイヨウハバノリ、コモンブクロ属: コモンブクロ、エゾブクロ属: エゾブクロ、フクロノリ属: フクロノリ、ワタモ、チシマフクロノリ属: チシマフクロノリ、カゴメノリ属: カゴメノリ、ムラリドリ属: ムラチドリ、サメズグサ属: サメズグサ、イワヒゲ属: イワヒゲ、ヨコジマノリ属: ヨコジマノリ、カヤモノリ属: カヤモノリ、ウイキョウモ属: ウイキョウモ、ツルモ属: ツルモ、アナメ属: アナメ、スジメ属: スジメ、ミスジコンブ属: ミスジコンブ、アツバミスジコンブ、コンブ属: ガツガラコンブ、カキジマコンブ、オニコンブ、ゴヘイコンブ、ナガコンブ、エンドウコンブ、オオチヂミコンブ、トロロコンブ属: トロロコンブ、アントクメ属: アントクメ、カジメ属: カジメ、ツルアラメ、クロメ、クキイシコンブ属: クキイシコンブ、ネジレコンブ属: ネジレコンブ、クロシオメ属: クロシオメ、ネコアシコンブ属: ネコアシコンブ、

アラメ属：アラメ、アイヌワカメ属：アイヌワカメ、チガイソ、オニワカメエゾイシゲ属：エゾイシゲ、ヤバネモク属：ヤバネモク、ラッパモク属：ラッパモク、ジョロモク属：ウガノモク、ジョロモク、ヒエモク、ホンダワラ属：タマナシモク、イソモク、ナガシマモク、アカモク、シダモク、ホンダワラ、ネジモク、ナラサモ、マメタワラ、タツクリ、ヤツマタモク、ウミトラノオ、オオバモク、フシズシモク、ハハキモク、トゲモク、ヨレモク、ノコギリモク、オオバノコギリモク、スギモク属：スギモク、ウキモ属：オオウキモ、ブルウキモ属：ブルウキモ、カヤモノリ属：カヤモノリなど）。

【0068】紅藻類（ウシケノリ属：ウシケノリ、フノリノウシケ、アマノリ属：アサクサノリ、スサビノリ、ウップルイノリ、オニアマノリ、タサ、フィリタサ、ベニタサ、ロドコルトン属：ミルノベニ、アケボノモズク属：アケボノモズク、コナハダ属：ハイコナハダ、ヨゴレコナハダ、アオコナハダ、ウミゾウメン属：ウミゾウメン、ツクモノリ、カモガシラノリ、ベニモズク属：ベニモズク、ホソベニモズク、カサマツ属：カサマツ、フサノリ属：フサノリ、ニセフサノリ属：ニセフサノリ、ソデガラミ属：ソデガラミ、ガラガラ属：ガラガラ、ヒラガラガラ、ヒロハタマイタダキ属：ヒロハタマイタダキ、タマイタダキ属：タマイタダキ、カギケノリ属：カギノリ、カギケノリ、テングサ属：ヒメテングサ、ハイテングサ、オオブサ、ナンブグサ、コヒラ、ヨヒラ、キヌクサ、ヒビロウド属：ヒビロウド、ヒメヒビロウド、イソムメモドキ属：イソムメモドキ、ミチガエソウ属：ミチガエソウ、リュウモンソウ属：リュウモンソウ、ヘラリュウモン、ニセカレキグサ属：ニセカレキグサ、オキツバラ属：オオバオキツバラ、アカバ属：アカバ、マルバアカバ、ナミノハナ属：ホソバナミノハナ、ナミノハナ、サンゴモドキ属：ガラガラモドキ、シオグサゴロモ属：シオグサゴロモ、イワノカワ属：エツキイワノカワ、カイノカワ属：カイノカワ、カニノテ属：カニノテ、サンゴモ属：サンゴモ、ムカデノリ属：ムカデノリ、スジムカデ、カタノリ、ヒラムカデ、キョウノヒモ、サクラノリ、ニクムカデ、タンバノリ、ツルツル、イソノハナ属：ヌラクサ、クロヌラクサ、オオムカデノリ、ヒラキントキ属：ヒラキントキ、マタボウ属：マタボウ、キントキ属：チャボキントキ、キントキ、マツノリ、コメノリ、トサカマツ、ヒトツマツ、カクレイト属：オオバキントキ、イトフノリ属：イトフノリ、ナガオバナ属：ナガオバナ、フノリ属：ハナフノリ、フクロフノリ、マフノリ、カレキグサ属：カレキグサ、トサカモドキ属：ホソバノトサカモドキ、ヒロハノトサカモドキ、ヤツデガタトサカモドキ、クロトサカモドキ、ネザシノトサカモドキ、キヌハダ属：キヌハダ、エゾトサカ属：エゾトサカ、ツカサノリ属：エナシカリメニア、オオツカサノリ、ハナガタカリメニア、ホウノオ属：ホウノオ、ヒカゲノイト属：ヒカゲノイト、ウスギヌ、ニク

ホウノオ属：ニクホウノオ、ベニスナゴ属：ベニスナゴ、ススカケベニ属：ススカケベニ、オカムラグサ属：ヤマダグサ、ミリン属：ミリン、ホソバミリン、トサカノリ属：キクトサカ、エゾナメシ属：エゾナメシ、イソモッカ属：イソモッカ、ユカリ属：ユカリ、ホソユカリ、イバラノリ属：イバラノリ、サイダイバラ、タチイバラ、カギイバラノリ、キジノオ属：キジノオ、イソダンツウ属：イソダンツウ、アツバノリ属：アツバノリ、オゴノリ属：オゴノリ、ツルシラモ、シラモ、オオオゴノリ、ミゾオコノリ、カバノリ、テングサモドキ属：ハチジョウテングサモドキ、フシクレノリ属：フシクレノリ、ナミイワタケ属：ナミイワタケ、カイメンソウ属：カイメンソウ、オキツノリ属：オキツノリ、サイミ属：イタニグサ、サイミ、ハリガネ、ハスジグサ属：ハスジグサ、スギノリ属：イカノアシ、ホソイボノリ、ノボノリ、クロハギンナンソウ属：クロハギンナンソウ、アカバギンナンソウ属：アカバギンナンソウ、ヒシブクロ属：ヒシブクロ、マダラグサ属：トゲマダラ、エツキマダラ、タオヤギソウ属：タオヤギソウ、ハナサクラ、フクロツナギ属：フクロツナギ、スジコノリ、ハナノエダ属：ハナノエダ、ヒラタオヤギ属：ヒラタオヤギ、ダルス属：ダルス、マサゴシバリ、アナダルス、ウエバグサ属：ウエバグサ、ベニフクロノリ属：ベニフクロノリ、フシツナギ属：フシツナギ、ヒメフシツナギ、ヒロハフシツナギ、ワツナギソウ属：ヒラワツナギソウ、ウスバワツナギソウ、イギス属：イギス、ケイギス、ハリイギス、ハネイギス、アミクサ、エゴノリ属：エゴノリ、フトイギス、サエダ属：サエダ、チリモミジ属：チリモミジ、コノハノリ科：ハブタエノリ、コノハノリ、スズシロノリ、ウスベニ属：ウスベニ、ハスジギヌ属：ハスジギヌ、ナガコノハノリ属：ナガコノハノリ、スジギヌ属：スジギヌ、アツバスジギヌ、ハイウスバノリ属：カギウスバノリ、ヤレウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、ウスバノリモドキ属：ウスバノリモドキ、アヤニシキ属：アヤニシキ、アヤギヌ属：アヤギヌ、ダジア属：エナシダジア、シマダジア属：イソハギ、シマダジア、ダジモドキ属：ダジモドキ、イトグサ属：モロイトグサ、フトイグサ、マクリ属：マクリ、ヤナギノリ属：ハナヤナギ、ユナ、ヤナギノリ、モツレユナ、ベニヤナギコリ、モサヤナギ、ササバヤナギノリ、ソゾ属：クロソゾ、コブソゾ、ハネソゾ、ソゾノハナ、ハネグサ属：ハネグサ、ケハネグサ、コザネモ属：コザネモ、イソムラサキ、ホソコザネモ、ヒメゴケ属：ヒメゴケ、クロヒメゴケ、ヒオドシグ属：キクヒオドシ、ヒオドシグサ、ウスバヒオドシ、アイソメグサ属：アイソメグサ、スジナシグサ属：スジナシグサ、イソバショウ属：イソバショウ、フジマツモ属：フジマツモ、ノコギリヒバ属：ハケサキノコギリヒバ、カワモズク属：カワモズク、アオカワモズク、ヒメカワモズク、イデユコゴメ属：イデユコゴメ、オキチモズク属：オキチモズク、

イトグサ属、チノリモ属：チノリモ、チスジノリモ属：チスジノリモなど）。

【0069】車軸藻類（シャジクモ属、シラタマモ属、ホシツリモ属：ホシツリモ、リクノタムヌス属、フラスコモ属：ヒメフラスコモ、チャボフラスコモ、トリペラ属など）、黄色藻類（ヒカリモ属：ヒカリモなど）など。

【0070】又、動物系原料由来の素材としては、鶏冠抽出物、牛又は人の胎盤抽出物、豚又は牛の胃や十二指腸或いは腸の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脾臓の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脳組織の抽出物、水溶性コラーゲン、アシル化コラーゲン等のコラーゲン誘導体、コラーゲン加水分解物、エラスチン、エラスチン加水分解物、水溶性エラスチン誘導体、ケラチン及びその分解物又はそれらの誘導体、シルク蛋白及びその分解物又はそれらの誘導体、豚又は牛血球蛋白分解物（グロビンペプチド）、豚又は牛ヘモグロビン分解物（ヘミン、ヘマチン、ヘム、プロトヘム、ヘム鉄等）、牛乳、カゼイン及びその分解物又はそれらの誘導体、脱脂粉乳及びその分解物又はそれらの誘導体、ラクトフェリン又はその分解物、鶏卵成分、魚肉分解物など。

【0071】(14)微生物培養代謝物

酵母代謝物、酵母菌抽出エキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキス、米発酵エキス、米糠（赤糠、白糠）発酵エキス、ユーグレナ抽出物、生乳又は脱脂粉乳の乳酸発酵物やトレハロース又はその誘導体など。

【0072】(15) α -ヒドロキシ酸類

グリコール酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、乳酸など。

【0073】(16)無機顔料

無水ケイ酸、ケイ酸マグネシウム、タルク、カオリン、ベントナイト、マイカ、雲母チタン、オキシ塩化ビスマス、酸化ジルコニウム、酸化マグネシウム、酸化亜鉛、酸化チタン、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、黄酸化鉄、ベンガラ、黒酸化鉄、グンジョウ、酸化クロム、水酸化クロム、カーボンブラック、カラミンなど。

【0074】(17)紫外線吸収／遮断剤

ベンゾフェノン誘導体（2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸ナトリウム、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン-スルホン酸ナトリウム、2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン、テトラヒドロキシベンゾフェノンなど）、p-アミノ安息香酸誘導体（パラアミノ安息香酸、パラアミノ安息香酸エチル、パラアミノ安息香酸グリセリル、パラジメチルアミノ安息香酸アミル、パラジメチルアミノ安息香酸オクチルなど）、メトキシ桂皮酸誘導体（パラメトキシ桂皮酸エチル、パラメトキシ桂皮酸イソプロピル、パラメトキシ桂皮酸オクチル、パラメトキシ桂皮酸

2-エトキシエチル、パラメトキシ桂皮酸ナトリウム、パラメトキシ桂皮酸カリウム、ジパラメトキシ桂皮酸モノ-2-エチルヘキサン酸グリセリルなど）、サリチル酸誘導体（サリチル酸オクチル、サリチルフェニル、サリチル酸ホモメンチル、サリチル酸ジプロピレングリコール、サリチル酸エチレングリコール、サリチル酸ミリスチル、サリチル酸メチルなど）、アントラニル酸誘導体（アントラニル酸メチルなど）、ウロカニン酸誘導体（ウロカニン酸、ウロカニン酸エチルなど）、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンB6誘導体、ウンベリフェロン、エスクリン、桂皮酸ベンジル、シノキサート、オキシベンゾン、ジオキシベンゾン、オクタベンゾン、スリソベンゾン、ベンゾレソルシノール、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、ネオヘリオパン、エスカロール、酸化亜鉛、タルク、カオリンなど。

【0075】(18)美白剤

p-アミノ安息香酸誘導体、サルチル酸誘導体、アントラニル酸誘導体、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンC又はその誘導体（ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩、ビタミンCグルコシドなど）、ビタミンE又はその誘導体、コウジ酸又はその誘導体、オキシベンゾン、ベンゾフェノン、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、胎盤エキス、エラグ酸、ルシノールなど。

【0076】(19)チロシナーゼ活性阻害剤

ビタミンC又はその誘導体（ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩、ビタミンCグルコシドなど）、ハイドロキノン又はその誘導体（ハイドロキノンベンジルエーテルなど）、コウジ酸又はその誘導体、ビタミンE又はその誘導体、N-アセチルチロシン又はその誘導体、グルタチオン、過酸化水素、過酸化亜鉛、胎盤エキス、エラグ酸、アルブチン、ルシノール、シルク抽出物、植物エキス（カミツレ、クワ、トウキ、ワレモコウ、クララ、ヨモギ、スイカズラ、キハダ、ドクダミ、マツホド、ハトムギ、オドリコソウ、ホップ、サンザシ、ユーカリ、セイヨウノコギリソウ、アルテア、ケイヒ、マンケイシ、ハマメリス、ヤマグワ、延命草、桔梗、トシシ、続随子、射干、麻黄、センキュウ、ドクカツ、サイコ、ボウフウ、ハマボウフウ、オウゴン、牡丹皮、シャクヤク、ゲンノショウコ、葛根、甘草、五倍子、アロエ、ショウマ、紅花、緑茶、紅茶、阿仙薬）など。

【0077】(20)メラニン色素還元/分解物質

フェニル水銀ヘキサクロフェン、酸化第二水銀、塩化第一水銀、過酸化水素水、過酸化亜鉛、ハイドロキノン又はその誘導体（ハイドロキノンベンジルエーテル）など。

【0078】(21)ターンオーバーの促進作用/細胞賦活物質

ハイドロキノン、乳酸菌エキス、胎盤エキス、霊芝エキス、ビタミンA、ビタミンE、アラントイン、脾臓エキス、胸腺エキス、酵母エキス、発酵乳エキス、植物エキス（アロエ、オウゴン、スギナ、ゲンチアナ、ゴボウ、シコン、ニンジン、ハマメリス、ホップ、ヨクイニン、オドリコソウ、センブリ、トウキ、トウキンセンカ、アマチャ、オトギリソウ、キュウリ、タチジャコウソウ、ローズマリー、パセリ）など。

【0079】(22)収斂剤

コハク酸、アラントイン、塩化亜鉛、硫酸亜鉛、酸化亜鉛、カラミン、p-フェノールスルホン酸亜鉛、硫酸アルミニウムカリウム、レゾルシン、塩化第二鉄、タンニン酸（カテキン化合物を含む）など。

【0080】(23)活性酸素消去剤

SOD、カタラーゼ、グルタチオンパーオキシダーゼなど。

【0081】(24)抗酸化剤

ビタミンC又はその塩、ステアリン酸エステル、ビタミンE又はその誘導体、ノルジヒドログアセレン酸、ブチルヒドロキシトルエン（BHT）、ブチルヒドロキシアニソール（BHA）、ヒドロキシチロソール、パラヒドロキシアニソール、没食子酸プロピル、セサモール、セサモリン、ゴシポールなど。

【0082】(25)過酸化脂質生成抑制剤

β-カロチン、植物エキス（ゴマ培養細胞、アマチャ、オトギリソウ、ハマメリス、チョウジ、メリッサ、エンメイソウ、シラカバ、セージ、ローズマリー、南天実、エイジツ、イチヨウ、緑茶）など。

【0083】(26)抗炎症剤

イクタモール、インドメタシン、カオリン、サリチル酸、サリチル酸ナトリウム、サリチル酸メチル、アセチルサリチル酸、塩酸ジフェンヒドラミン、d-カンフル、dl-カンフル、ヒドロコルチゾン、グアイアズレン、カマズレン、マレイン酸クロルフェニラミン、グリチルリチン酸又はその塩、グリチルレチン酸又はその塩、甘草エキス、シコンエキス、エイジツエキスなど。

【0084】(27)抗菌・殺菌・消毒薬

アクリノール、イオウ、グルコン酸カルシウム、グルコン酸クロルヘキシジン、スルファミン、マーキエクロム、ラクトフェリン又はその加水分解物、塩化アルキルジアミノエチルグリシン液、トリクロサン、次亜塩素酸ナトリウム、クロラミンT、サラシ粉、ヨウ素化合物、ヨードホルム、ソルビン酸又はその塩、サルチル酸、デ

ヒドロ酢酸、パラヒドロキシ安息香酸エステル類、ウンデシレン酸、チアミンラウリル硫酸塩、チアミンラウリル硝酸塩、フェノール、クレゾール、p-クロロフェノール、p-クロロ-m-キシレノール、p-クロロ-m-クレゾール、チモール、フェネチルアルコール、o-フェニルフェノール、イルガサンCH3565、ハロカルバン、ヘキサクロフェン、クロロヘキシジン、エタノール、メタノール、イソプロピルアルコール、ベンジルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、フェノキシエタノール、クロロブタノール、イソプロピルメチルフェノール、非イオン界面活性剤（ポリオキシエチレンラウリルエーテル、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルなど）、両性界面活性剤、アニオン界面活性剤（ラウリル硫酸ナトリウム、ラウロイルサルコシンカリウムなど）、カチオン界面活性剤（臭化セチルトリメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、塩化メチルロザニリン）、ホルムアルデヒド、ヘキサミン、ブリリアントグリーン、マラカイトグリーン、クリスタルバイオレット、ジャーマル、感光素101号、感光素201号、感光素401号、N-長鎖アシル塩基性アミノ酸誘導体及びその酸附加塩、酸化亜鉛、ヒノキチオール、クジンなど。

【0085】(28)保湿剤

グリセリン、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、ヒアルロン酸又はその塩、ポリエチレングリコール、コンドロイチン硫酸又はその塩、水溶性キチン或いはキトサン誘導体、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸ナトリウム、ミニササニシキエキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキス、ヘチマ水、シラカバ（白樺）又は赤松の樹液

【0086】(29)エラスターゼ活性阻害剤

フロオロリン酸ジイソプロピル、植物エキス（オウゴン、オトギリソウ、クララ、桑の葉、ケイヒ、ゲンノシヨウコ、コンフリー、セージ、セイヨウニワトコ、ボダイジュ、ボタンビ）、海藻エキスなど。

【0087】(30)頭髮用剤

二硫化セレン、臭化アルキルイソキノリニウム液、ジニクピリチオン、ピフェナミン、チアントール、カスターチンキ、ショウキョウチンキ、トウガラシチンキ、塩酸キニーネ、強アンモニア水、臭素酸カリウム、臭素酸ナトリウム、チオグリコール酸など。

【0088】(31)抗アンドロゲン剤

卵胞ホルモン（エストロン、エストラジオール、エチニルエストラジオールなど）、イソフラボン、オキシセンドロンなど。

【0089】(32)末梢血管血流促進剤

ビタミンE又はその誘導体、センブリエキス、ニンニクエキス、人参エキス、アロエエキス、ゲンチアナエキス、トウキエキス、セファランチン、塩化カルプロニウ

ム、ミノキシジルなど。

【0090】(33)刺激剤

トウガラシチンキ、ノニル酸バニルアミド、カンタリスチンキ、ショウキョウチンキ、ハッカ油、1-メントール、カンフル、ニコチン酸ベンジルなど。

【0091】(34)代謝活性化剤

感光素 301 号、ヒノキチオール、パントテン酸又はその誘導体、アラントイン、胎盤エキス、ビオチン、ベンタデカン酸グリセリドなど。

【0092】(35)抗脂漏剤

ピリドキシン又はその誘導体、イオウ、ビタミン B 6 など。

【0093】(36)角質溶解剤

レゾルシン、サリチル酸、乳酸など。

【0094】(37)酸化剤

過酸化水素水、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、過ホウ酸ナトリウム、過酸化尿素、過炭酸ナトリウム、過酸化トリポリリン酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、臭素酸カリウム、過酸化ピロリン酸ナトリウム、過酸化オルソリン酸ナトリウム、ケイ酸ナトリウム過酸化水素付加体、硫酸ナトリウム塩化ナトリウム過酸化水素付加体、 β -チロシナーゼ酵素液、マッシュルーム抽出液など。

【0095】(38)除毛剤

硫酸ストロンチウム、硫化ナトリウム、硫化バリウム、硫化カルシウムなどの無機系還元剤、チオグリコール酸又はその塩類（チオグリコール酸カルシウム、チオグリコール酸ナトリウム、チオグリコール酸リチウム、チオグリコール酸マグネシウム、チオグリコール酸ストロンチウム）など。

【0096】(39)毛髪膨潤剤

エタノールアミン、尿素、グアニジンなど。

【0097】(40)染料剤

5-アミノオルトクレゾール、2-アミノ-4-ニトロフェノール、2-アミノ-5-ニトロフェノール、1-アミノ-4-メチルアミノアントラキノン、3,3'-イミノジフェノール、塩酸 2,4-ジアミノフェノキシエタノール、塩酸 2,4-ジアミノフェノール、塩酸トルエン-2,5-ジアミン、塩酸ニトロパラフェニレンジアミン、塩酸パラフェニレンジアミン、塩酸 N-フェニルパラフェニレンジアミン、塩酸メタフェニレンジアミン、オルトアミノフェノール、酢酸 N-フェニルパラフェニレンジアミン、1,4-ジアミノアントラキノン、2,6-ジアミノピリジン、1,5-ジヒドロキシナフタレン、トルエン-2,5-ジアミン、トルエン-3,4-ジアミン、ニトロパラフェニレンジアミン、パラアミノフェノール、パラニトロオルトフェニレンジアミン、パラフェニレンジアミン、パラメチルアミノフェノール、ピクラミン酸、ピクラミン酸ナトリウム、N,N'-ビス(4-アミノフェニル)-2,5-ジアミノ-1,4-キノンジイミ

ール、N-フェニルパラフェニレンジアミン、メタアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、硫酸 5-アミノオルトクレゾール、硫酸 2-アミノ-5-ニトロフェノール、硫酸オルトアミノフェノール、硫酸オルトクロルパラフェニレンジアミン、硫酸 4,4'-ジアミノジフェニルアミン、硫酸 2,4-ジアミノフェノール、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、硫酸ニトロパラフェニレンジアミン、硫酸パラアミノフェノール、硫酸パラニトロオルトフェニレンジアミン、硫酸パラニトロメタフェニレンジアミン、硫酸パラフェニレンジアミン、硫酸パラメチルアミノフェノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフェニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、 α -ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテインなど。

【0098】(41)香料

ジャコウ、シベット、カストリウム、アンバーgris などの天然動物性香料、アニス精油、アンゲリカ精油、イランイラン精油、イリス精油、ウイキョウ精油、オレンジ精油、カナンガ精油、カラウエー精油、カルダモン精油、グアヤクウッド精油、クミン精油、黒文字精油、ケイ皮精油、シンナモン精油、ゲラニウム精油、コパイババルサム精油、コリアンデル精油、シソ精油、シダーウッド精油、シトロネラ精油、ジャスミン精油、ジンジャーグラス精油、杉精油、スベアミント精油、西洋ハッカ精油、大茴香精油、チュベローズ精油、丁字精油、橙花精油、冬緑精油、トルーバルサム精油、バチユリー精油、バラ精油、パルマローザ精油、桧精油、ヒバ精油、白檀精油、プチグレン精油、ベイ精油、ベチバ精油、ベルガモット精油、ベルーバルサム精油、ボアドローズ精油、芳樟精油、マンダリン精油、ユーカリ精油、ライム精油、ラベンダー精油、リナロエ精油、レモングラス精油、レモン精油、ローズマリー精油、和種ハッカ精油などの植物性香料、その他合成香料など。

【0099】(42)色素・着色剤

赤キャベツ色素、赤米色素、アカネ色素、アナトー色素、イカスミ色素、ウコン色素、エンジュ色素、オキアミ色素、柿色素、カラメル、金、銀、クチナシ色素、コーン色素、タマネギ色素、タマリンド色素、スピルリナ色素、ソバ全草色素、チェリー色素、海苔色素、ハイビスカス色素、ブドウ果汁色素、マリーゴールド色素、紫イモ色素、紫ヤマイモ色素、ラック色素、ルチンなど。

【0100】その他、保湿剤、ホルモン類、金属イオン封鎖剤、pH 調整剤、キレート剤、防腐・防バイ剤、清涼剤、安定化剤、乳化剤、動・植物性蛋白質及びその分解物、動・植物性多糖類及びその分解物、動・植物性糖蛋白質及びその分解物、血流促進剤、消炎剤・抗アレルギー剤、細胞賦活剤、角質溶解剤、創傷治療剤、増泡剤、増粘剤、口腔用剤、消臭・脱臭剤、苦味料、調味

料、酵素などが上げられ、これらとの併用によって、相加的及び相乗的な各種の効果が期待できる。

【0101】又、本発明の化粧料組成物の剤型は任意であり、カプセル、粉末、顆粒、固形、液体、ゲル、気泡、乳液、クリーム、軟膏、シートなどの形態で配合して用いることができる。

【0102】具体的には、例えば、外用薬用製剤、化粧水、乳液、クリーム、軟膏、ローション、オイル、パックなどの基礎化粧料、洗顔料や皮膚洗浄料、除毛剤、脱毛剤、アフターシェーブローション、プレシェーブローション、シェービングクリーム、ファンデーション、口紅、頬紅、アイシャドウ、アイライナー、マスカラなどのメイクアップ化粧料、香水類、シャンプー、リンス、ヘアトリートメント、プレヘアトリートメント、整髪料、パーマ剤、ヘアトリートメント、染毛料、育毛・養毛料などの頭髪化粧料、浴用剤、消臭剤、防臭剤、パップ剤、プラスター剤、テープ剤、シート剤、貼付剤、エアゾール剤、その他、歯磨き類、口中清涼剤・含嗽剤、衛生綿類、ウエットティッシュなど様々な製品に応用でき、又、一般的な飲食品への使用もできる。

【0103】尚、本発明の化粧料組成物への添加の方法については、予め加えておいても、製造途中で添加しても良く、作業性を考えて適宜選択すれば良い。

【0104】

【実施例】以下に、製造例、試験例、処方例を上げて説明するが、本発明がこれらに制約されるものではない。

【0105】（製造例1）水蒸気蒸留装置を用いてキントラノオ果実の水蒸気蒸留を行い、得られた水溶性成分層（水層部）を分取し、濾過して目的の水蒸気蒸留水を得る。

【0106】（製造例2）上記、製造例1で得た水蒸気蒸留水に対して、防腐・防バイ剤（例えば、パラベン類：メチルパラベン、エチルパラベン、プロピルパラベン、エタノール、フェノキシエタノール）を添加し、目的の水蒸気蒸留水を得る。

【0107】（製造例3）上記、製造例1で使用したキントラノオの水蒸気蒸留水を得た後の残渣物を再度、出発原料として、水蒸気蒸留を行い、目的の水蒸気蒸留水を得る。

【0108】（製造例4）各種植物「キントラノオ科植物（アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカ

（処方例1）乳液

1. スクワラン
2. ホホバ油
3. セチルアルコール
4. グリセリンモノステアレート

ド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（パラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）」の果実を用いて、製造例1と同様な方法にて、水蒸気蒸留水を得る。

【0109】（試験1）安全性試験

（1）皮膚一次刺激性試験

製造例1及び4で得られた各種植物の水蒸気蒸留水を背部を剪毛したハートレー系モルモット（雌性、1群3匹、体重300～350g）の皮膚の2×2cm²の四角当たり0.03mLずつ塗布した。判定は、適用後24、48、72時間に一次刺激性の評点法により紅斑及び浮腫を指標として行った。その結果、全ての動物において、何等、紅斑及び浮腫を認めず陰性と判定された。

【0110】（試験2）安全性試験

（2）皮膚累積刺激性試験

製造例1及び4で得られた各種植物の水蒸気蒸留水を側腹部を剪毛（2×4cm²）したハートレー系モルモット（雌性、1群3匹、体重320g前後）の皮膚に1日1回、週5回、0.5mL/動物当りを塗布した。塗布は2週にわたって、又、剪毛は各週の最終塗布日に行った。判定は、各塗布日及び最終塗布日の翌日に一次刺激性の評点法により紅斑及び浮腫を指標として行った。その結果、全ての動物において、塗布後2週間にわたって、何等、紅斑及び浮腫を認めず陰性と判断された。

【0111】（試験3）安全性試験

（3）単回投与毒性試験

製造例1及び4で得られた各種植物の水蒸気蒸留水を、一匹につき30mL/kg量を、試験前、16時間絶食させたdd_y系マウス（雄性及び雌性、1群5匹、5週齢）に経口にてゾンデを以て投与し、毒性症状の発現、程度などを経時的に観察した。その結果、全てのマウスにおいて14日間、何等異常を認めず、解剖の結果も異常がなかった。よって、LD₅₀は30mL/kg以上であり、安全な物質と判断した。

【0112】（処方例）化粧料組成物の製造

上記の評価結果に従い、以下にその処方例を示すが、各処方例は各製品の製造における常法により製造したもので良く、配合量のみを示した。又、本発明はこれらに限定されるわけではない。

【0113】

重量%

- 8.0
- 7.0
- 1.5
- 2.0

31

32

5. ポリオキシエチレン(20)セチルエーテル	3.0
6. ポリオキシエチレン(20)ソオルピタンモノオレート	2.0
7. 1,3-ブチレングリコール	1.0
8. グリセリン	2.0
9. A-1: 製造例1のキントラノオ水蒸気蒸留水	
A-2: 製造例4のアセロラ水蒸気蒸留水	
A-3: 製造例4のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水	
A-4: 製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水	
A-5: 製造例4のカゴノキ水蒸気蒸留水	
A-6: 製造例4のスナヅル水蒸気蒸留水	
A-7: 製造例4のクスノキ水蒸気蒸留水	
A-8: 製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水	
A-9: 製造例4のシナクスモドキ水蒸気蒸留水	
A-10: 製造例4のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	
A-11: 製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	
A-12: 製造例4のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	
A-13: 製造例4のハマビワ水蒸気蒸留水	
A-14: 製造例4のシロダモ水蒸気蒸留水	
A-15: 製造例4のシロモジ水蒸気蒸留水	
A-16: 製造例4のアボカド水蒸気蒸留水	
A-17: 製造例4のナツグミ水蒸気蒸留水	
A-18: 製造例4のホソグミ水蒸気蒸留水	
A-19: 製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水	
A-20: 製造例4のアキグミ水蒸気蒸留水	
A-21: 製造例4のヤマヤナギ水蒸気蒸留水	
A-22: 製造例4のケンボナシ水蒸気蒸留水	
A-23: 製造例4のハマナツメ水蒸気蒸留水	
A-24: 製造例4のクロウメモドキ水蒸気蒸留水	
A-25: 製造例4のナツメ水蒸気蒸留水	
A-26: 製造例4のバラミツ水蒸気蒸留水	
A-27: 製造例4のコウゾ水蒸気蒸留水	
A-28: 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水	
A-29: 製造例4のイチジク水蒸気蒸留水	
A-30: 製造例4のマグワ水蒸気蒸留水	
A-31: 製造例4のザクロ水蒸気蒸留水	
A-32: 製造例4のヒメザクロ水蒸気蒸留水	
※A-1～A-32の何れか1種の水蒸気蒸留水	5.0
10. 防腐剤(パラオキシ安息香酸エステル)	適量
11. 精製水	100とする残余

【0114】

40

(処方例2) 乳液

	重量%
1. スクワラン	8.0
2. ホホバ油	7.0
3. パラアミノ安息香酸グリセリル	1.0
4. ウロカニン酸エチル	1.0
5. ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩	1.0
6. セチルアルコール	1.5
7. グリセリンモノステアレート	2.0
8. ポリオキシエチレン(20)セチルエーテル	3.0

33

34

9. ポリオキシエチレン(20)ソオルビタンモノオレート	2.0
10. 1,3-ブチレングリコール	1.0
11. グリセリン	2.0
12. 防腐剤 (バラオキシ安息香酸エステル)	適量
13. 製造例 4 のアセロラ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例 4 のカゴノキ水蒸気蒸留水	20.0
15. 精製水	100とする残余

【0115】

(処方例 3) 化粧用オイル

	重量%
1. 流動パラフィン	30.0
2. スクワラン	20.0
3. オリーブ油	10.0
4. パルミチン酸イソプロピル	10.0
5. グレープフルーツ果実又は葉熱水抽出液	1.0
6. オリーブ油	1.0
7. シア脂	1.0
8. ブチルヒドロキシアニソール	0.1
9. ビタミンE誘導体	0.1
10. 防腐剤 (塩化ベンザルコニウム)	適量
11. 製造例 4 のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	10.0
12. 製造例 4 のクロモジ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0116】

(処方例 4) 柔軟性化粧水

	重量%
1. グリセリン	5.0
2. 1,3-ブチレングリコール	5.0
3. モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E.0)	1.0
4. エタノール	15.0
5. A-1: 製造例 1 のキントラノオ水蒸気蒸留水	
A-2: 製造例 4 のアセロラ水蒸気蒸留水	
A-3: 製造例 4 のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水	
A-4: 製造例 4 のバリバリノキ水蒸気蒸留水	
A-5: 製造例 4 のカゴノキ水蒸気蒸留水	
A-6: 製造例 4 のスナヅル水蒸気蒸留水	
A-7: 製造例 4 のクスノキ水蒸気蒸留水	
A-8: 製造例 4 のニッケイ水蒸気蒸留水	
A-9: 製造例 4 のシナクスモドキ水蒸気蒸留水	
A-10: 製造例 4 のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	
A-11: 製造例 4 のクロモジ水蒸気蒸留水	
A-12: 製造例 4 のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	
A-13: 製造例 4 のハマビワ水蒸気蒸留水	
A-14: 製造例 4 のシロダモ水蒸気蒸留水	
A-15: 製造例 4 のシロモジ水蒸気蒸留水	
A-16: 製造例 4 のアボカド水蒸気蒸留水	
A-17: 製造例 4 のナツグミ水蒸気蒸留水	
A-18: 製造例 4 のホソグミ水蒸気蒸留水	
A-19: 製造例 4 のツルグミ水蒸気蒸留水	
A-20: 製造例 4 のアキグミ水蒸気蒸留水	
A-21: 製造例 4 のヤマヤナギ水蒸気蒸留水	

35

36

A-22: 製造例 4 のケンボナシ水蒸気蒸留水	
A-23: 製造例 4 のハマナツメ水蒸気蒸留水	
A-24: 製造例 4 のクロウメモドキ水蒸気蒸留水	
A-25: 製造例 4 のナツメ水蒸気蒸留水	
A-26: 製造例 4 のパラミツ水蒸気蒸留水	
A-27: 製造例 4 のコウゾ水蒸気蒸留水	
A-28: 製造例 4 のハリグワ水蒸気蒸留水	
A-29: 製造例 4 のイチジク水蒸気蒸留水	
A-30: 製造例 4 のマグワ水蒸気蒸留水	
A-31: 製造例 4 のザクロ水蒸気蒸留水	
A-32: 製造例 4 のヒメザクロ水蒸気蒸留水	
※ A-1 ~ A-32 の何れか 1 種の水蒸気蒸留水	30.0
6. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
7. 精製水	100 とする 残余

【0117】

(処方例 5) 収れん化粧水

	重量%
1. ソルビット	2.0
2. POE (20) オレイルアルコール	1.0
3. エタノール	15.0
4. バリエタリア 50% 1,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
5. ヒバマタ 50% 1,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
6. ハイビスカス 50% 1,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
7. 緑茶葉又は茎 50% 1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
8. ハマメリス葉又は樹皮 50% 1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
9. アラントイン	0.2
10. 収れん剤 (スルホ石炭酸亜鉛)	0.2
11. 製造例 4 のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	20.0
12. 製造例 4 のハマビワ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例 4 のケンボナシ水蒸気蒸留水	100 とする 残余

【0118】

(処方例 6) 2 層式化粧水 (液~液型)

	重量%
1. スクワラン	8.0
2. POE ソルビタンテトラオレイン酸エステル	0.3
3. ソルビット	1.0
4. エタノール	15.0
5. センキュウ根茎 30% エタノール抽出液	2.0
6. セージ全草 30% エタノール抽出液	2.0
7. 芍薬根茎及び葉 30% エタノール抽出液	1.0
8. リンゴ成熟果実 30% エタノール抽出液	1.0
9. アスコルビン酸	0.2
10. 収れん剤 (カラミン)	0.1
11. 防腐剤 (フェノキシエタノール)	適量
12. 製造例 4 のナツグミ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例 4 のハマナツメ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例 4 のヒメザクロ水蒸気蒸留水	100 とする 残余

【0119】

(処方例 7) カーミンローション (液~固型)

重量%

37	38
1. グリセリン	3.0
2. 1,3-ブチレングリコール	5.0
3. エタノール	15.0
4. 酸化鉄 (ベンガラ)	0.2
5. 酸化亜鉛	0.5
6. カオリン	2.0
7. 烏薬根茎及び葉50%エタノール抽出液	2.0
8. コンフリー葉及び茎50%エタノール抽出液	2.0
9. 石榴果実50%プロピレングリコール抽出液	1.0
10. オトギリソウ花又は葉50%プロピレングリコール抽出液	1.0
11. プラセンタエキス	1.0
12. カンファー	0.2
13. フェノール	0.03
14. 防腐剤 (感光素 201 & 401 号)	適量
15. 製造例 4 のクロウメドキ水蒸気蒸留水	20.0
16. 精製水	100とする残余

【0120】

(処方例 8) バック

	重量%
1. ポリビニルアルコール	15.0
2. カルボキシメチルセルロースナトリウム	5.0
3. プロピレングリコール	3.0
4. エタノール	15.0
5. ステビア葉50%エタノール抽出液	2.0
6. ヒオウギ根茎50%エタノール抽出液	2.0
7. 桜葉50%エタノール抽出液	2.0
8. 桃葉50%エタノール抽出液	2.0
9. ニオイイリス根茎50%エタノール抽出液	2.0
10. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
11. 香料 (セージ精油)	適量
12. 製造例 4 のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	30.0
13. 精製水	100とする残余

【0121】

(処方例 9) ピールオフパック

	重量%
1. グリセリン	6.0
2. プロピレングリコール	4.0
3. ポリビニルアルコール	15.0
4. エタノール	10.0
5. ポリオキシエチレングリコール	1.0
6. パントテニルエチルエーテル	1.0
7. ユーカリ葉茎30%エタノール抽出液	3.0
8. トウガシ30%エタノール抽出液	2.0
9. ホソババレンギク (エチナシ) 葉30%エタノール抽出液	2.0
10. アルニカ花又は葉30%エタノール抽出液	2.0
11. 防腐剤 (パラオキシ安息香酸エステル)	適量
12. 製造例 4 のクスノキ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例 4 のニッケイ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例 4 のマグワ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0122】

(処方例 10) コールドクリーム

	重量%
1. サラシミツロウ	11.0
2. 流動パラフィン	22.0
3. ラノリン	10.0
4. オリーブ油	5.0
5. カミツレ油	5.0
6. パーム油	5.0
7. ホウ砂	0.5
8. オウバク樹皮抽出液 (エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	2.0
9. 葛根抽出液 (エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	2.0
10. ハトムギ種子抽出液 (エタノール:1,3-ブチレングリコール=1:1抽出溶媒)	2.0
11. 液状シア脂	1.0
12. 防腐剤 (アクリノール)	0.1
13. 製造例 4 のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例 4 のツルグミ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0123】

20

(処方例 11) エモリエントクリーム

	重量%
1. ステアリン酸	2.0
2. ステアリルアルコール	7.0
3. 還元ラノリン	2.0
4. スクワラン	5.0
5. オクチルドデカノール	6.0
6. ポリオキシエチレンセチルエーテル (25E.O.)	3.0
7. 親油性モノステアリン酸グリセリン	2.0
8. プロピレングリコール	5.0
9. チンピ果皮50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
10. 苦参根茎50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
11. 枸杞果実50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
12. 枸杞根皮50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
13. 防腐剤 (パラベン)	適量
14. 製造例 4 のシロダモ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0124】

(処方例 12) 洗顔クリーム

	重量%
1. ミリスチン酸	25.0
2. ステアリン酸	15.0
3. 牛脂脂肪酸	5.0
4. プロピレングリコール	10.0
5. 水酸化カリウム	6.0
6. ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	6.0
7. キイチゴ果実50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
8. 西洋ニワトコ花又は漿果 50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
9. 紅花50%1,3-ブチレングリコール抽出液	3.0
10. カラギーナン	1.0

41

42

11.グリチルレチン酸ジカリウム	1.0
12.杏子核粒	0.1
13.防腐剤（サルチル酸）	0.1
14.製造例4のザクロ水蒸気蒸留水	20.0
15.精製水	100とする残余

【0125】

(処方例13) 洗顔クリーム

	重量%
1.ステアリン酸	15.0
2.パルミチン酸	15.0
3.ミリスチン酸	15.0
4.ラウリン酸	4.0
5.オレイルアルコール	1.5
6.ラノリン誘導体（E.O.付加物）	1.0
7.グリセリン	18.0
8.水酸化カリウム	6.0
9.ローヤルゼリー抽出液	1.0
（エタノール：1,3-ブチレングリコール=1：11キス）	
10.グリチルリレチン酸	1.0
11.防腐剤（サルチル酸）	0.1
12.製造例1のキントラノオ水蒸気蒸留水	20.0
13.製造例4のナツメ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0126】

(処方例14) ボディーソープ

	重量%
1.ラウリン酸カリウム	15.0
2.ミリスチン酸カリウム	5.0
3.プロピレングリコール	5.0
4.乳清	1.5
5.製造例4のスナヅル水蒸気蒸留水	15.0
6.製造例4のハマナツメ水蒸気蒸留水	15.0
7.ワカメ70%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.5
8.枇杷葉70%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.5
9.キウイ果実70%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.5
10.オタネ人参の根70%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.5
11.ポリエチレン末	0.5
12.ヒドロキシプロピルキトサン溶液	0.5
13.アミノ酸（グリシン、グルタミンなど）	0.5
14.防腐剤（ウンデシレン酸、フェノール）	適量
15.pH調整剤	適量
16.精製水	100とする残余

【0127】

(処方例15) サンスクリーン化粧品（O/W型）

	重量%
1.オキシベンゾン	2.0
2.パラメトキシケイ皮酸オクチル	5.0
3.スクワラン	10.0
4.ワセリン	5.0
5.ステアリルアルコール	3.0
6.ステアリン酸	3.0

43

44

7.グリセリルモノステアレート	2.0
8.ポリアクリル酸エチル	1.0
9.1,3-ブチレングリコール	6.0
10.エデト酸二ナトリウム	0.1
11.トリエタノールアミン	1.0
12.二酸化チタン	5.0
13.リョクトウモヤシジプロピレングリコール抽出液	1.5
14.フキタンポポの葉及び花ジプロピレングリコール抽出液	1.5
15.ムラサキの根50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
16.白樺樹皮50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
17.オトギリソウ全草50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
18.柴胡の根50%ジプロピレングリコール抽出液	1.5
19.防腐剤（パラベン）	適量
20.製造例4のアセロラ水蒸気蒸留水	20.0
21.製造例4のイチジク水蒸気蒸留水	100とする残余

【0128】

(処方例16) サンスクリーン化粧品（オイルタイプ）

	重量%
1.流動パラフィン	65.0
2.パラアミノ安息香酸エチル	1.0
3.テトラヒドロキシベンゾフェノン	1.0
4.セチルオクタノエート	20.0
5.スギナ全草熱水抽出液	1.0
6.大豆種子熱水抽出液	1.0
7.山茶花全草熱水抽出液	0.5
8.芍薬根又は葉熱水抽出液	0.5
9.生姜根茎熱水抽出液	0.5
10.牡丹皮50%熱水抽出液	1.5
11.タチジャコウソウ全草熱抽出液	0.5
12.コンフリー葉及び茎熱水抽出液	0.5
13.ジヒドロキシメトキシベンゾフェノン	0.2
14.製造例4のヤマヤナギ水蒸気蒸留水	6.8
15.酸化防止剤（ブチルヒドロキシトルエン）	適量

【0129】

(処方例17) クリームファンデーション（O/W型）

	重量%
1.ステアリン酸	4.0
2.モノステアリン酸グリセリン	3.0
3.セタノール	1.5
4.ミリスチン酸イソプロピル	7.0
5.流動パラフィン	10.0
6.サラシミツロウ	3.0
7.トリエタノールアミン	1.5
8.グリセリン	3.0
9.ベントナイト	1.0
10.酸化チタン	8.0
11.2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン	8.0
12.カオリン	3.0
13.タルク	3.0
14.着色顔料（黄酸化鉄）	1.0

45

46

15. ツボクサ葉又は茎70%エチレングリコール抽出乾燥粉末	0.2
16. 桑葉70%エチレングリコール抽出乾燥粉末	0.2
17. 防腐剤 (パラベン)	適量
18. 香料 (ジャスミン精油)	適量
19. 製造例4のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	20.0
20. 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水	10.0
21. 精製水	100とする残余

【0130】

(処方例18) シャンプー

	重量%
1. ラウリル硫酸トリエタノールアミン	5.0
2. ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム	12.0
3. 1,3-ブチレングリコール	4.0
4. ラウリン酸ジエタノールアミド	2.0
5. エデト酸二ナトリウム	0.1
6. 山梔子果実30%1,2-ブチレングリコール抽出液	2.0
7. 茴香果実30%1,2-ブチレングリコール抽出液	2.0
8. 桑白皮30%1,2-ブチレングリコール抽出液	2.0
9. 熊笹の葉及び茎30%1,2-ブチレングリコール抽出液	1.0
10. ヒドロキシプロピルキトサン溶液	2.0
11. ムコ多糖体溶液	1.0
12. 抗菌・防腐剤 (感光素101号)	適量
13. pH調整剤	適量
14. 香料 (ハマメリス水)	適量
15. 製造例4のシナクスモドキ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水	20.0
17. 製造例4のハリグワ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0131】

(処方例19) リンス

	重量%
1. 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	3.0
2. セトステアリルアルコール	3.0
3. ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3.0
4. プロピレングリコール	5.0
5. カミツレ花又は茎50%2,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
6. サボンソウ葉又は茎50%2,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
7. レンゲソウ葉50%2,3-ブチレングリコール抽出液	2.0
8. ヒドロキシエチルキトサン溶液	1.0
9. トレハロース溶液	1.0
10. 加水分解シルク溶液	1.0
11. 抗菌・防腐剤 (塩化ベンザルコニウム)	適量
12. 製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例4のアキグミ水蒸気蒸留水	20.0
14. 製造例4のコウゾ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0132】

(処方例20) リンス

	重量%
1. 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	2.0
2. セトステアリルアルコール	2.0
3. ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3.0

47

48

4. プロピレングリコール	5.0
5. エチレングリコール	3.0
6. イラクサ根茎50%エチレングリコール抽出液	2.0
7. ホップ雌花穂50%エチレングリコール抽出液	2.0
8. トレハロース溶液	3.0
9. 加水分解ケラチン溶液	3.0
10. 抗菌・防腐剤（塩化ベンザルコニウム）	適量
11. アロエ葉液汁	3.0
12. 製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水	40.0
13. 製造例4のマグワ水蒸気蒸留水	100とする残余

【0133】

(処方例21) ヘアーリキッド

	重量%
1. エタノール	29.0
2. ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸	10.0
3. ポリオキシプロピレンモノブチルエーテル	5.0
4. トリエタノールアミン	1.0
5. 百合球根熱水抽出液	2.0
6. ウミウチワ熱水抽出液	2.0
7. レタス葉熱水抽出液	2.0
8. 細辛（ケイリン細辛）全草熱水抽出液	1.0
9. 銀杏葉熱水抽出液	1.0
10. 米糠熱水抽出エキス	1.0
11. 塩化カルプロニウム	0.3
12. ヒノキチオール	0.5
13. ケラチン分解溶液	1.0
14. 抗菌・防腐剤（パラベン、塩化ベンザルコニウム）	適量
15. 製造例4のクスノキ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	20.0
17. 精製水	100とする残余

【0134】

(処方例22) ヘアーリキッド

	重量%
1. エタノール	29.0
2. ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸	10.0
3. ポリオキシプロピレンモノブチルエーテル	5.0
4. トリエタノールアミン	1.0
5. トリメチレングリコール	5.0
6. 納豆発酵エキス	1.0
7. トウキンセンカ花50%エタノール抽出液	1.0
8. ヨモギ全草50%エタノール抽出液	1.0
9. ウーロン茶葉又は種子50%エタノール抽出液	1.0
10. アズレン	1.0
11. 抗菌・防腐剤（パラベン、塩化ベンザルコニウム）	適量
12. 製造例4のバラミツ水蒸気蒸留水	20.0
13. 製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	5.0
14. 精製水	100とする残余

【0135】

(処方例23) ヘアートニック

重量%

49	50
1. エタノール	40.0
2. オレイン酸エチル	1.0
3. ポリオキシエチレン (40) 硬化ヒマシ油	2.0
4. A-1: 製造例 1 のキントラノオ水蒸気蒸留水	
A-2: 製造例 4 のアセロラ水蒸気蒸留水	
A-3: 製造例 4 のコウシュンカズラ水蒸気蒸留水	
A-4: 製造例 4 のバリバリノキ水蒸気蒸留水	
A-5: 製造例 4 のカゴノキ水蒸気蒸留水	
A-6: 製造例 4 のスナヅル水蒸気蒸留水	
A-7: 製造例 4 のクスノキ水蒸気蒸留水	
A-8: 製造例 4 のニッケイ水蒸気蒸留水	
A-9: 製造例 4 のシナクスモドキ水蒸気蒸留水	
A-10: 製造例 4 のゲッケイジュ水蒸気蒸留水	
A-11: 製造例 4 のクロモジ水蒸気蒸留水	
A-12: 製造例 4 のテンダイウヤク水蒸気蒸留水	
A-13: 製造例 4 のハマビワ水蒸気蒸留水	
A-14: 製造例 4 のシロダモ水蒸気蒸留水	
A-15: 製造例 4 のシロモジ水蒸気蒸留水	
A-16: 製造例 4 のアボカド水蒸気蒸留水	
A-17: 製造例 4 のナツグミ水蒸気蒸留水	
A-18: 製造例 4 のホソグミ水蒸気蒸留水	
A-19: 製造例 4 のツルグミ水蒸気蒸留水	
A-20: 製造例 4 のアキグミ水蒸気蒸留水	
A-21: 製造例 4 のヤマヤナギ水蒸気蒸留水	
A-22: 製造例 4 のケンボナシ水蒸気蒸留水	
A-23: 製造例 4 のハマナツメ水蒸気蒸留水	
A-24: 製造例 4 のクロウメモドキ水蒸気蒸留水	
A-25: 製造例 4 のナツメ水蒸気蒸留水	
A-26: 製造例 4 のパラミツ水蒸気蒸留水	
A-28: 製造例 4 のハリグワ水蒸気蒸留水	
A-29: 製造例 4 のイチジク水蒸気蒸留水	
A-30: 製造例 4 のマグワ水蒸気蒸留水	
A-31: 製造例 4 のザクロ水蒸気蒸留水	
A-32: 製造例 4 のヒメザクロ水蒸気蒸留水	
※ A-1 ~ A-32 の何れか 1 種の水蒸気蒸留水	20.0
5. 塩化カルプロニウム	0.3
6. パンテチン水溶液	0.5
7. 柚子葉又は果実 60% エタノール抽出液	3.0
8. 防腐剤 (パラベン)	適量
9. 精製水	100 とする 残余

【0136】

(処方例 24) ヘアートニック

	重量%
1. l-メントール	0.2
2. エタノール	32.5
3. ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油	0.5
4. プロピレングリコール	5.0
5. 塩酸ジフェニヒドラミン	0.3
6. 当帰根茎熱水抽出液	2.0
7. 羅漢果果実熱水抽出液	1.0

51

52

8. オウレン根茎熱水抽出液	1.0
9. トウモロコシ全草熱水抽出液	1.0
10. 鶏冠抽出溶液	1.0
11. カルボキシメチルキチン溶液	1.0
12. ビタミンE誘導体	0.5
13. パンテチン水溶液	0.5
14. 抗菌・防腐剤 (パラベン)	0.1
15. 製造例4のハマビワ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のケンボナシ水蒸気蒸留水	20.0
17. 精製水	100とする残余

【0137】

(処方例25) 育毛・養毛剤

	重量%
1. エタノール	60.0
2. 大豆種子50%プロピレングリコール抽出液	5.0
3. センキュウ根茎50%プロピレングリコール抽出液	2.0
4. センブリ全草50%プロピレングリコール抽出液	2.0
5. セイヨウノコギリソウ全草 50%プロピレングリコール抽出液	2.0
6. ビタミンE誘導体	0.5
7. トウガラシチンキ	0.5
8. レゾルシン	0.5
9. グリチルリチン酸	0.5
10. ヒドロキシプロピルキトサン溶液	0.5
11. 牛ヘマチン液	0.5
12. ムチン溶液	0.5
13. アミノ酸 (グリシン、グルタミンなど)	0.5
14. 抗菌・防腐剤 (パラベン)	0.1
15. 製造例4のザクロ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のヒメザクロ水蒸気蒸留水	10.0
17. 精製水	100とする残余

【0138】

(処方例26) 育毛・養毛剤

	重量%
1. エタノール	60.0
2. セイヨウネズ50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
3. セイヨウニワトコ50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
4. 木槿皮又は果実50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
5. 茯苓菌核50%1,3-ブチレングリコール抽出液	1.0
6. ヘチマ全草50%1,3-ブチレングリコール抽出液	0.5
7. カンタリスチンキ	0.5
8. パントテン酸誘導体	0.5
9. レゾルシン	0.5
10. グリチルリチン酸	0.5
11. サリチル酸	0.5
12. ヒドロキシエチルキトサン溶液	0.5
13. エラスチン加水分解液	0.5
14. 抗菌・防腐剤 (パラベン)	0.1
15. 製造例4のバラミツ水蒸気蒸留水	20.0
16. 製造例4のイチジク水蒸気蒸留水	100とする残余

【0139】

(処方例27) 顆粒浴用剤

	重量%
1.炭酸水素ナトリウム	38.0
2.無水硫酸ナトリウム	30.0
3.ホウ砂	2.0
4.製造例4のバリバリノキ水蒸気蒸留水	20.0
5.西洋薄荷葉又は茎熱水抽出液	5.0
6.ユキノシタ全草熱水抽出乾燥粉末	5.0
7.色素(ゲンジョウ緑)	適量

【0140】

(処方例28) 顆粒浴用剤

	重量%
1.炭酸水素ナトリウム	30.0
2.無水硫酸ナトリウム	30.0
3.ホウ砂	4.0
4.製造例4のクロモジ水蒸気蒸留水	30.0
5.ヤグルマギク花又は葉茎70%エタノール抽出乾燥粉末	3.0
6.アロエ果肉70%エタノール抽出液	3.0
7.色素(ゲンジョウ、水酸化クロム)	適量

【0141】(処方例29) 被覆保護剤

ガーゼ又はリニメント布に製造例4のニッケイ水蒸気蒸留水、抗生物質、抗炎症など適量を混合した処方液を含浸させ、外傷部に添付する。又、製造例4のツルグミ水蒸気蒸留水又はナツメ水蒸気蒸留水を直接、局所に散布し、ガーゼなどで被覆しても良い。

【0142】(試験4) 使用効果試験

本発明の化粧品組成物を実際に使用した場合の効果について検討を行った。使用テストは乾燥ぎみやツヤ・張りのない肌で悩む人30~60歳の各10名をパネラーとし、毎日、朝と夜の2回、洗顔後に処方例4の柔軟性化粧水の適量を顔面に3ヶ月に渡って塗布することにより行った。尚、対照には、柔軟性化粧水から本発明の柑橘

類植物の水蒸気蒸留水を除いたものを同様な方法にて処方したものを用いた。又、評価方法は下記の基準にて行い、結果は表1から表2の通りで表中の数値は人数を表す。尚、使用期間中に皮膚の異常を訴えた者はなかった。

【0143】「皮膚感触改善効果」

有 効：乾燥肌や肌のツヤ・張りが増し、肌が改善された。

やや有効：乾燥肌や肌のツヤ・張りがやや増し、肌が改善された。

無 効：使用前と変化なし。

【0144】

55
〈表1〉

56

試 料	有 効	やや有効	無 効
キントラノオ水蒸気蒸留水	2	8	1
アセロラ水蒸気蒸留水	2	8	1
コウシュンカズラ水蒸気蒸留水	0	9	1
バリバリノキ水蒸気蒸留水	0	8	2
カゴノキ水蒸気蒸留水	1	8	1
スナツル水蒸気蒸留水	0	8	2
クスノキ水蒸気蒸留水	1	9	0
ニッケイ水蒸気蒸留水	3	6	1
シナクスモドキ水蒸気蒸留水	0	9	1
ゲッケイジュ水蒸気蒸留水	2	8	0
クロモジ水蒸気蒸留水	2	7	1
テンダイウヤク水蒸気蒸留水	2	7	1
ハマビワ水蒸気蒸留水	1	8	1
シロダモ水蒸気蒸留水	1	7	2
シロモジ水蒸気蒸留水	1	7	2
アボカド水蒸気蒸留水	1	9	0
ナツグミ水蒸気蒸留水	1	7	2
ホソグミ水蒸気蒸留水	0	8	2
ツルグミ水蒸気蒸留水	0	7	3
アキグミ水蒸気蒸留水	0	8	2
対 照 品	0	0	10

【0145】

57
〈表 2〉

試 料	有 効	やや有効	無 効
ヤマヤナギ水蒸気蒸留水	0	9	1
ケンボナシ水蒸気蒸留水	2	8	0
ハマナツメ水蒸気蒸留水	2	7	1
クロウメモドキ水蒸気蒸留水	2	7	1
ナツメ水蒸気蒸留水	2	6	2
バラミツ水蒸気蒸留水	3	6	1
コウゾ水蒸気蒸留水	2	6	2
ハリグワ水蒸気蒸留水	0	8	2
イチジク水蒸気蒸留水	0	9	1
マグワ水蒸気蒸留水	2	8	0
ザクロ水蒸気蒸留水	3	7	0
ヒメザクロ水蒸気蒸留水	2	6	2
対 照 品	0	0	10

【0146】（試験結果）表1から表2の通り、本発明のキントラノオ科植物（キントラノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）の水蒸気蒸留水を含有した柔軟性化粧水は、有意に乾燥肌を改善し、肌にツヤ・張りを与えることが確認できた。

【0147】

【発明の効果】本発明のキントラノオ科植物（キントラ

ノオ、アセロラ、コウシュンカズラ）、クスノキ科植物（バリバリノキ、カゴノキ、スナヅル、クスノキ、ニッケイ、シナクスモドキ、ゲッケイジュ、クロモジ、テンダイウヤク、ハマビワ、シロダモ、シロモジ、アボカド）、グミ科植物（ナツグミ、ホソグミ、ツルグミ、アキグミ）、クロウメモドキ科植物（ヤマヤナギ、ケンボナシ、ハマナツメ、クロウメモドキ、ナツメ）、クワ科植物（バラミツ、コウゾ、ハリグワ、イチジク、マグワ）、ザクロ科植物（ザクロ、ヒメザクロ）より選ばれる1種以上の植物の水蒸気蒸留水を含有した化粧料組成物は、乾燥肌を改善し、肌にツヤ・張りも与えることができる。尚、人・動物に対しても安全なものであり、その他、精神的な安定感を付与し、ストレスの解消、清涼感を与え、一般的な飲食品類への利用も可能である。

【手続補正書】

【提出日】平成13年2月22日(2001.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正内容】

【0046】尚、本発明の化粧品組成物は、前記の必須成分に加え必要に応じ、本発明の効果を損なわない範囲内で、下記に例示する成分や添加剤を任意に選択・併用して製造することができ、製剤中への含有量は、特に規定しないが、通常、0.0001～50%が好ましい。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テームト(参考)

A 6 1 K 7/48

A 6 1 K 7/48

7/50

7/50

F ターム(参考) 4C083 AA072 AA082 AA111 AA112
 AA122 AB032 AB152 AB212
 AB232 AB242 AB312 AB352
 AB442 AC022 AC032 AC072
 AC102 AC122 AC132 AC182
 AC212 AC242 AC352 AC392
 AC432 AC442 AC472 AC482
 AC532 AC542 AC552 AC582
 AC642 AC682 AC852 AD022
 AD092 AD112 AD272 AD312
 AD322 AD532 AD642 AD662
 CC04 CC05 CC06 CC07 CC12
 CC23 CC38 CC39 DD12 DD27
 DD30 DD33 EE12